

(様式第 10)

信大病総第 0082 号
令和 3 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿
開設者名 国立大学法人信州大学長 中村 宗一郎

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号
氏 名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

信州大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号	電話(0263) 35-4600
--------------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
1 呼吸器内科	② 消化器内科
5 神経内科	③ 循環器内科
9 感染症内科	④ 腎臓内科
	7 内分泌内科
	8 代謝内科
	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科
	11 リウマチ科
診療実績	
呼吸器・感染症・アレルギー内科，脳神経内科，糖尿病・内分泌内科	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科	②消化器外科
③乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	⑥心臓血管外科
⑦内分泌外科	⑧小児外科
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科	2矯正歯科
③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科	2 形成外科	3 リハビリテーション科	4 病理診断科
--------	--------	--------------	---------

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	床	床	床	677床	717床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	254人	353人	490.0人	看 護 補 助 者	38人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	5人	26人	19.8人	理 学 療 法 士	17人	臨床検査技師	66人
薬 剤 師	25人	21人	46人	作 業 療 法 士	12人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	8人	そ の 他	0人
助 産 師	68人	1人	68.7人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	719人	12人	726.4人	臨 床 工 学 士	23 人	医療社会事業従事者	6人
准 看 護 師	1人	0人	1人	栄 養 士	0人	その他の技術員	30人
歯科衛生士	2 人	5人	7人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	174人
管理栄養士	4人	7人	10.7人	診療放射線技師	39人	そ の 他 の 職 員	27人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	53 人	眼 科 専 門 医	11 人
外 科 専 門 医	32 人	耳鼻咽喉科専門医	11 人
精 神 科 専 門 医	10 人	放射線科専門医	21 人
小 児 科 専 門 医	28 人	脳神経外科専門医	6 人
皮 膚 科 専 門 医	11 人	整形外科専門医	23 人
泌尿器科専門医	8 人	麻 酔 科 専 門 医	17 人
産婦人科専門医	10 人	救 急 科 専 門 医	7 人
		合 計	248 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (川真田 樹人) 任命年月日 令和2年4月1日

平成26年4月1日～平成28年3月31日：医療安全管理室長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日 当 たり 平 均 入 院 患 者 数	521.6 人	15.1 人	536.7 人
1 日 当 たり 平 均 外 来 患 者 数	1273.3 人	68.2 人	1341.5 人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	956.7 剤		
必要医師数	129人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	18人		
必要（准）看護師数	314人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	645 m ²	鉄筋コン クリート	病 床 数	14 床	心 電 計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	313 m ²	病床数	26 床	
	[移動式の場合]	台 数	6 台			
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合]	床 積	116 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名	服薬指導室			
化学検査室	508 m ²	鉄筋コン クリート	(主な設備) 全自動マイクロプレートEIA分析装置			
細菌検査室	128 m ²	〃	(主な設備) Anoxomat MarkⅡ (細菌診断装置)			
病理検査室	232 m ²	〃	(主な設備) 凍結組織切片作製装置			
病理解剖室	145 m ²	〃	(主な設備) 写真撮影器具			
研 究 室	241 m ²	〃	(主な設備) なし			
講 義 室	949 m ²	〃	室数	10 室	収容定員	404人
図 書 室	88 m ²	〃	室数	1 室	蔵 書 数	6,500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		92.4%	逆紹介率	71.2%
算出根拠	A：紹介患者の数	12125 人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10631 人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1661 人		
	D：初診の患者の数	14921 人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人財団慈泉会相澤病院 病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
高木 洋行	松本市立病院 名誉院長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学 経法学部 教授		法律に関する識見を有する者	無	1
土屋 恭子	公益社団法人長野県看護協会 常務理事		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

[illegible]

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡くて小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			
医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	膵石に対する体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 慢性膵炎で発症することの多い膵石に対する体外衝撃波を用いて結石を破碎する治療。県内では信州大学医学部附属病院でのみ可能な治療法。			
医療技術名	腎移植(生体および献腎)	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 慢性腎不全患者に対する生体および献腎移植の実施。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた心内リード抜去術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 ペースメーカーやICDを植え込んだ後、感染症の合併により植え込んだリードを抜去する必要がある場合がある。これまではリードの抜去に開心術が必要で患者の負担が大であったが、エキシマレーザーを用いることにより開心術を行うことなくリード抜去を実施している。			
医療技術名	キムリア療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 難治性白血病に対するCAR-T細胞製剤による治療。子屋内20程度の認定施設でしか実施できない。			
医療技術名	Associated liver partition and portal vein ligation for staged hepatectomy (ALPPS)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 根治的肝切除に先行して門脈結紮と肝離断を行い、予定残肝容積の増加を確認した後に根治的な肝切除(ALPPS 2nd)を行う。			
医療技術名	膵・胆管合流異常(先天性胆道拡張症)に対する腹腔鏡下総胆管拡張症手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 腹腔鏡下にて分流手術(胆のうを含めた胆管切除及び胆道再建)を行う。			
医療技術名	生体肝移植術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 末期肝不全患者に対する臓器移植術。			
医療技術名	脳死肝移植術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 末期肝不全患者に対する臓器移植術。			
医療技術名	血液型不適合生体肝移植術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 生体肝移植術のうち、血液型が不一致不適合の生体ドナーから提供された肝臓を移植する技術で、免疫抑制剤にリツキシマブを追加し、脾摘を加える。			

医療技術名	小児腹腔鏡下肝拡大右葉切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 小児肝芽腫に対して、腹腔鏡下で肝拡大右葉切除術を行う。			
医療技術名	悪性胸膜中皮腫に対する胸膜切除/肺剥皮術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 これまで悪性胸膜中皮腫に対する外科治療は胸膜肺全摘術であり、壁側胸膜・臓側胸膜とともに片肺全摘を行う非常に高侵襲な手術であった。胸膜切除/肺剥皮術は難易度は高いが、壁側・臓側胸膜切除のみで肺実質を温存する術式であり、侵襲度が胸膜肺全摘より低く、現在、高度な医療施設において徐々に普及しつつある術式である。			
医療技術名	肺癌におけるサルベージ手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 進行肺癌に対する初回治療で、手術適応無しと判断され薬物療法や放射線化学療法が行われた後の経過において、局所再発等に対し外科的切除の適応と判断した症例に対する根治的治療(サルベージ手術)を行った。薬物療法などの進歩に伴い、近年その有用性が報告され始めた手術であるが、初回治療の影響により、局所の癒着や硬化が強く、高難度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下肺葉切除	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の肺癌に対する肺葉切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下縦隔腫瘍手術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の縦隔腫瘍(胸腺上皮性腫瘍や縦隔神経原性腫瘍など)に対する切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	小型肺癌に対するRFID技術を用いた術前マーキング法	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 術中に触知不可能な小型肺病変に対し、現在CTガイド下のフックワイヤーを用いたVATSマーカー留置を施行しているが、空気塞栓による脳梗塞のリスクなどがあるとされる。今回、気管支鏡化にICチップを数カ所留置し、術中にプローベを用いてチップの位置を同定しながら手術を行うRFID(Radiofrequency identification)技術を用いて小型肺癌や転移性肺腫瘍に対して切除を施行した。本技術はこれまで数施設のみ、世界でも(当科で1例目実施時)15例程度のみに行われていない技術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下肺区域切除	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の肺癌に対する肺区域切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、ロボット支援鏡視下肺葉切除と同等、もしくはそれ以上に高度な手術である。			
医療技術名	ハイブリッド手術室での脊柱側弯症手術	取扱患者数	43人
当該医療技術の概要 ハイブリッド手術室でロボテックC-armにより撮影されたCone beam CT画像で仮想現実を作り出し、術中CTナビゲーションによる側弯症手術を行う。			
医療技術名	頸椎人工椎間板置換術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 頸椎疾患に対する人工関節留置			
医療技術名	スマート治療室における脳腫瘍手術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 術中MRIおよび情報統合ミドルウェアを用いた脳腫瘍手術。			
医療技術名	てんかん外科手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 難治性てんかんに対する外科手術。			

医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	取扱患者数	86人
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	人工尿道括約筋埋込術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 前立腺癌術後の尿失禁に対する新しいdeviceを使用した手術			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術、脊髄・脊椎手術では、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	血管奇形に対する硬化療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 リンパ管奇形のみならず、動静脈奇形、静脈奇形にも放射線科と連携して硬化療法を施行している。			
医療技術名	顔面骨骨切り術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 複雑な先天異常の顔面骨異常に対し、術前3D骨模型を用いた計画のもと、骨切り術を施行している。			
医療技術名	リンパ管静脈吻合術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術を保存的療法に加えて施行している。			
医療技術名	自家培養表皮による皮膚移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 広範囲熱傷および先天性巨大色素性母斑に対して 自家培養表皮による皮膚移植を行う。			
医療技術名	マイクロサージャリーによるがん切除後の再建手術	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要 悪性腫瘍手術により広範に切除された組織を再建するためにマイクロサージャリーを行う。			
医療技術名	持続血液浄化療法	取扱患者数	87人
当該医療技術の概要 腎不全を伴う重症患者に対し、丸1日かけて透析療法を行う。			
医療技術名	体外補助循環①	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 心不全を伴う重症患者に対するサポート治療。大動脈バルーンポンピングを用いた治療。			
医療技術名	体外補助循環②	取扱患者数	32
当該医療技術の概要 心不全、呼吸不全を伴う重症患者に対するサポート治療。PCPS, ECMOを用いた治療。			

医療技術名	一酸化窒素療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 肺高血圧を伴う心臓手術後患者に対する治療。			
医療技術名	体外補助循環	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 心不全、呼吸不全を伴う重症患者に対するサポート治療。インペラを用いた治療。			
医療技術名	気管支鏡インターベンション	取扱患者数	59
当該医療技術の概要 気道狭窄や気道出血などに対して、気管支鏡的に、バルーンや高周波治療(アルゴンプラズマ凝固法(APC)含む)を用いた気道の拡張や、腫瘍切除を行う。また気道ステント留置も行っている。			
医療技術名	超音波気管支鏡下針生検(EBUS-TBNA)	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 気管・気管支周囲リンパ節などの病変に対して、超音波を用いてリアルタイムに、安全で確実な針生検を行うことができる。			
医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 CTにて病変、気管支鏡の位置を確認しつつ検査を行うことで、CTで指摘された病変から確実に組織検査を行うことができる。			
医療技術名	超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡下に経胃的に膵嚢胞を穿刺、ドレナージチューブやステントを留置する。			
医療技術名	経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 食道アカラシアに対する内視鏡を用いて筋層切開を行う新しい治療法。			
医療技術名	消化管腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同切除(LECS)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 内視鏡のみで切除困難な消化管発生の粘膜下腫瘍や十二指腸腫瘍などに対して腹腔鏡と内視鏡両方を用いて安全に腫瘍を切除できる治療法。			
医療技術名	内視鏡下咽喉頭手術(ELPS)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 早期の咽頭・喉頭腫瘍に対して、耳鼻科医による喉頭展開下に行う内視鏡的な腫瘍切除術。通常の手術と比較して低侵襲な治療法。			
医療技術名	十二指腸腫瘍に対する浸水下内視鏡的切除(Underwater EMR)	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 早期の十二指腸腫瘍に対して、腸管内浸水状況下に内視鏡的に粘膜切除を行う方法。従来の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と比較して安全性が非常に高く腫瘍の切除が可能である。			
医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	結合組織疾患の次世代シーケンス解析	取扱患者数	84人
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用い、結合組織疾患(マルファン症候群、エーラーズ・ダンロス症候群等)患者を対象に、54種の遺伝子を解析している。			

医療技術名	知的障害の次世代シーケンス解析	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 知的障害患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、知的障害関連の80種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	デスモプレッシン点鼻療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 D4ST欠損を伴うエーラースダンロス症候群患者の巨大皮下血腫に対して、デスモプレッシン点鼻療法を行い、良好な経過を導き出している。			
医療技術名	てんかんの次世代シーケンス解析	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 てんかんの遺伝子解析を行っている			
医療技術名	コレステロール塞栓症に対するLDL吸着療法	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 コレステロール塞栓症による末梢循環障害の改善を目的とした血液浄化療法である。 本院では当該治療について先進医療の承認を受けている。			
医療技術名	難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 癌腹膜播種や肝硬変などに伴う難治性腹水症に対し、当院では独自の手法による腹水濾過濃縮再静注法(DC-CART)を行っている。この方法により腹水の全量排液、効率の良い蛋白回収率、低い合併症を実現している。			
医療技術名	難治性自己免疫疾患に対する血漿交換療法	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 難治性自己免疫疾患に対し、疾患特性や患者の全身状態を考慮し様々な種類の血漿交換(単純血漿交換、二重膜濾過血漿交換、血漿吸着療法)を選択し行っている。			
医療技術名	重症肝不全に対する大量置換血液ろ過透析療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症肝不全に対する体液異常の是正を目的とした大量置換血液ろ過透析療法を行っている。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する顆粒球吸着療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 炎症性腸疾患に対して活性化白血球を除去する顆粒球吸着療法を行っている。			
医療技術名	集中治療における持続血液濾過透析とエンドトキシン吸着療法	取扱患者数	56人
当該医療技術の概要 集中治療室における循環動態の不安定な患者に対して持続血液濾過透析やエンドトキシン吸着療法を行っている。			
医療技術名	腎移植	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 末期腎不全患者に対し、生体および献腎移植を行っている			
医療技術名	フローダイバーター(パイプライン、フレッド)留置術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 大型かつ広頸の脳動脈瘤に対して行う治療法である。コイルを用いないので、動脈瘤の縮小が期待できる。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数		疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	6	71	特発性大腿骨頭壊死症	42
2 筋萎縮性側索硬化症	20	72	下垂体性ADH分泌異常症	10
3 脊髄性筋萎縮症	8	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
5 進行性核上性麻痺	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	4
6 パーキンソン病	102	75	クッシング病	5
7 大脳皮質基底核変性症	1	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	29
10 シャルコー・マリー・トウース病	4	78	下垂体前葉機能低下症	67
11 重症筋無力症	75	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	69	84	サルコイドーシス	57
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	33	85	特発性間質性肺炎	69
15 封入体筋炎	1	86	肺動脈性肺高血圧症	23
16 クロウ・深瀬症候群	3	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
17 多系統萎縮症	13	88	慢性血栓性肺高血圧症	22
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	60	89	リンパ脈管筋腫症	5
19 ライソゾーム病	10	90	網膜色素変性症	17
21 ミトコンドリア病	4	91	バッド・キアリ症候群	2
22 もやもや病	15	92	特発性門脈圧亢進症	2
23 プリオン病	1	93	原発性胆汁性胆管炎	47
25 進行性多巣性白質脳症	2	94	原発性硬化性胆管炎	9
28 全身性アミロイドーシス	162	95	自己免疫性肝炎	6
30 遠位型ミオパチー	1	96	クローン病	82
34 神経線維腫症	29	97	潰瘍性大腸炎	99
35 天疱瘡	7	98	好酸球性消化管疾患	3
36 表皮水疱症	2	104	コステロ症候群	1
37 膿疱性乾癬(汎発型)	11	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
39 中毒性表皮壊死症	1	107	全身型若年性特発性関節炎	4
40 高安動脈炎	12	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
41 巨細胞性動脈炎	3	113	筋ジストロフィー	6
42 結節性多発動脈炎	11	115	遺伝性周期性四肢麻痺	1
43 顕微鏡的多発血管炎	25	117	脊髄空洞症	4
44 多発血管炎性肉芽腫症	13	118	脊髄髄膜瘤	3
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10	129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1
46 悪性関節リウマチ	4	130	先天性無痛無汗症	1
47 パーリ病	3	131	アレキサンダー病	1
49 全身性エリテマトーデス	233	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	107	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1
51 全身性強皮症	73	144	レノックス・カストー症候群	1
52 混合性結合組織病	46	150	環状20番染色体症候群	1
53 シェーグレン症候群	24	151	ラスムッセン脳炎	1
54 成人スチル病	18	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2
55 再発性多発軟骨炎	2	158	結節性硬化症	4
56 ベーチェット病	67	160	先天性魚鱗癬	1
57 特発性拡張型心筋症	67	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4
58 肥大型心筋症	27	167	マルファン症候群	29
60 再生不良性貧血	21	168	エーラス・ダンロス症候群	19
61 自己免疫性溶血性貧血	4	171	ウィルソン病	3
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	172	低ホスファターゼ症	1
63 特発性血小板減少性紫斑病	17	179	ウィリアムズ症候群	1
64 血栓性血小板減少性紫斑病	1	188	多脾症候群	1
65 原発性免疫不全症候群	14	189	無脾症候群	1
66 IgA腎症	23	203	22q11.2欠失症候群	2
67 多発性嚢胞腎	28	207	総動脈幹遺残症	2
68 黄色靱帯骨化症	8	208	修正大血管転位症	4
69 後縦靱帯骨化症	53	209	完全大血管転位症	2
70 広範脊柱管狭窄症	11	210	単心室症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

[illegible]

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・オンライン診療料	・ハイリスク分娩管理加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・後発医薬品使用体制加算1
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1、精神病棟10対1)	・データ提出加算2(200床以上)
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算1(入院時支援加算含む)
・診療録管理体制加算2	・精神疾患診療体制加算
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・精神科急性期医師配置加算
・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割未満)	・排尿自立支援加算
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・地域医療体制確保加算
・夜間看護体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	・救命救急入院料2、3
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料1
・重症者等療養環境特別加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算1・2	・新生児特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算含む)	
・抗菌薬適正使用支援加算	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・皮膚移植術(死体)
・糖尿病合併症管理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・処理骨再建加算
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(同種骨移植(非生体))(同種骨移植(特殊なものに限る。))
・外来緩和ケア管理料	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後、造血幹細胞移植後)	・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・糖尿病透析予防指導管理料	・椎間板内酵素注入療法
・小児運動器疾患指導管理料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・婦人科特定疾患治療管理料	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・腎代替療法指導管理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・院内トリアージ実施料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・外来放射線照射診療料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・ニコチン依存症管理料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・療養・就労両立支援指導料(相談支援加算を含む)	・網膜再建術
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・がん治療連携計画策定料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型(拡大副鼻腔手術)
・外来排尿自立指導料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・薬剤管理指導料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・医療機器安全管理料1	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・医療機器安全管理料2	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・医療機器安全管理料(歯科)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)

・精神科退院時共同指導料1	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・精神科退院時共同指導料2	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・歯科治療時医療管理料	・内視鏡下筋層切開術
・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・経カテーテル大動脈弁置換術
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)
・遺伝学的検査	・磁気ナビゲーション加算
・骨髄微小残存病変変量測定	・経皮的中隔心筋焼灼術
・BRCA1/2遺伝子検査	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・がんゲノムプロファイリング検査	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・先天性代謝異常症検査	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術
・抗HLA抗体検査(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・補助人工心臓
・国際標準検査管理加算	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・遺伝カウンセリング加算	・経皮的下肢動脈形成術
・遺伝腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胎児心エコー法	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・ヘッドアップティルト試験	・体外衝撃波胆石破碎術
・人工膵臓検査	・腹腔鏡下肝切除術
・皮下連続式グルコース測定	・生体部分肝移植術
・神経学的検査	・同種死体肝移植術
・補聴器適合検査	・体外衝撃波膵石破碎術

・全視野精密網膜電図	・腹腔鏡下痔腫瘍摘出術、腹腔鏡下痔体尾部腫瘍切除術
・ロービジョン検査判断料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・コンタクトレンズ検査料1	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・センチネルリンパ節生検(片側)	・同種死体腎移植術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・生体腎移植術
・精密触覚機能検査	・膀胱水圧拡張術
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算2	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算3	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心臓MRI撮影加算	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・乳房MRI撮影加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術
・小児鎮静下MRI撮影加算	・輸血管理料Ⅰ
・頭部MRI撮影加算	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・全身MRI撮影加算	・コーディネート体制充実加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・自己生体組織接着剤作成術
・外来化学療法加算1	・自己クリオプレシビテート作製術(用手法)及び同種クリオプレシビテート作製術
・無菌製剤処理料	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・歯周組織再生誘導手術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・がん患者リハビリテーション料	・麻酔管理料(Ⅱ)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・放射線治療専任加算
・リンパ浮腫複合的治療料	・外来放射線治療加算
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・高エネルギー放射線治療

・通院・在宅精神療法(療養生活環境整備指導加算)	・1回線量増加加算
・精神科作業療法	・強度変調放射線治療(IMRT)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・画像誘導放射線治療加算
・医療保護入院等診療料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・定位放射線治療
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・透析液水質確保加算	・デジタル病理画像による病理診断
・慢性維持透析濾過加算	・病理診断管理加算2
・人工膵臓療法	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・CAD/CAM冠	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は治療後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回の検討会…6件 1ヶ月に1回の検討会…3件
剖 検 の 状 況	剖検症例数 18 例 / 剖検率 6.4 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
DMD患者iPS細胞由来の心筋細胞を用いた心不全の病態と治療に関する研究	宮崎 大吾	内科(3)	910,000	補委 日本学術振興会
ALアミロイドーシスにおけるプロテアソーム阻害剤感受性決定機構の解明	加藤 修明	内科(3)	650,000	補委 日本学術振興会
神経発達症の遺伝学的背景の探索	高野 亨子	遺伝子医療研究センター	1,560,000	補委 日本学術振興会
慢性腎臓病における血清スルファチド異常の臨床的重要性と機序の解明	上條 祐司	内科(2)	1,300,000	補委 日本学術振興会
移植後の水痘帯状疱疹ウイルスに対する免疫再構築を基盤とした感染予防戦略の確立	田中 美幸	小児科	1,170,000	補委 日本学術振興会
周期の免疫活性と術後痛の関連性に関する研究	長谷川 麻衣子	手術部	1,040,000	補委 日本学術振興会
分子進化工学的手法を用いたNav1.7阻害薬の開発	石田 高志	麻酔科蘇生科	1,430,000	補委 日本学術振興会
高い安全性と優れた骨形性能をもつ世界初新型PEEK頸椎スペーサーの開発	伊東 清志	脳神経外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
子宮内膜癌におけるPPP2R1A遺伝子変異の意義の検討	布施谷 千穂	産科婦人科	1,560,000	補委 日本学術振興会
口腔癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	山田 慎一	特殊歯科・口腔外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
ヒトCYP2J2活性を強力かつ選択的に阻害する医薬品の探索と抗腫瘍効果の解析	山折 大	薬剤部	1,170,000	補委 日本学術振興会
ネオアンチゲンから展開する脾臓癌に対する複合的免疫療法の開発	柳沢 龍	輸血部	1,300,000	補委 日本学術振興会
新規開発超細径内視鏡と屈曲機能付ガイドシースを用いた末梢肺野小病変の確定診断	安尾 将法	呼吸器・感染症・アレルギー内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
4級アミン局所麻酔薬は末梢痛覚神経だけを選択的に遮断できるか	布施谷 仁志	麻酔科蘇生科	780,000	補委 日本学術振興会
先天性橈尺骨癒合症の候補遺伝子SMPDL3Aの機能解析	中村 幸男	整形外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
脊柱アライメント不良者の動的バランス評価：一般住民対象スクリーニング法の開発	池上 章太	リハビリテーション部	260,000	補委 日本学術振興会
消化器癌における近赤外線免疫療法(NIR-PIT)の応用を目指した研究	長屋 匡信	内視鏡センター	1,690,000	補委 日本学術振興会
治療遺伝子搭載ナノ粒子を用いた小児・AYA世代がんに対する革新的治療法の開発	齋藤 章治	小児科	1,690,000	補委 日本学術振興会
細胞接着分子群と細胞増殖シグナル解析に基づいた若年性骨髄単球性白血病治療法の開発	坂下 一夫	小児科	2,210,000	補委 日本学術振興会
腸内細菌叢メタゲノム解析による閉塞性黄疸に伴う肝再生障害改善療法の開発	清水 明	消化器外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
長期ニコチン摂取が及ぼす腎・膀胱の組織学的機能的影響と禁煙効果の解析	永井 崇	泌尿器科学	1,690,000	補委 日本学術振興会
内耳不動毛ミオシンの挙動、およびその分子輸送機能とシナリ調節機構の統合的解明	北尻 真一郎	耳鼻いんこう科	1,690,000	補委 日本学術振興会
唾液バイオマーカーは術後せん妄の新たな予測因子となりうるか	福家 愛(志村愛)	心臓血管外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
革新的脳生検術「ボーリングバイオブシー法」の開発	荻原 利浩	脳神経外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
KRAS変異大腸癌に有効な治療標的分子の解析	北沢 将人	消化器外科	780,000	補委 日本学術振興会
深層学習を用いた人工知能による超早期爪部メラノーマ診断システムの構築	古賀 弘志	皮膚科	520,000	補委 日本学術振興会
難治性腎疾患における骨髄由来間葉系幹細胞を利用した新規治療法の研究開発	松岡 大輔	小児科	0	補委 日本学術振興会
小児重症筋無力症の免疫学的病態の解明～新規免疫抑制療法の開発に向けて～	本林 光雄	小児科	130,000	補委 日本学術振興会
重症虚血肢に対する脂肪幹細胞移植と血管内治療のハイブリッド治療の確立	海老澤 聡一郎	血管内治療学講座(循環器内科)	390,000	補委 日本学術振興会
先天性無痛症に関連する変異遺伝子によるナトリウムチャネル機能の解明	清澤 研吉	集中治療部	1,300,000	補委 日本学術振興会

小計 30

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ストレスシールドイングフリーを実現:新規開発材料による次世代型骨伝導インプラント	滝沢 崇	リハビリテーション部	1,170,000	補委 日本学術振興会
閉経モデルマウス滑膜内臓の網羅的遺伝子発現解析による狭窄性腱鞘炎の病態解明	岩川 紘子	整形外科	910,000	補委 日本学術振興会
Wnt経路を標的とした悪性骨腫瘍の病態解析とスクレスチンによる治療の臨床応用	岡本 正則	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
四肢の骨格形態・形成に関与するZMAT2遺伝子の機能解析	鈴木 孝子	整形外科	0	補委 日本学術振興会
互恵的相互依存に着目した医療系協調学習の分析と改善	清水 郁夫	医療安全管理室	910,000	補委 日本学術振興会
心臓リハビリテーション介入と運動機能改善および医療費削減効果の関係	山本 周平	リハビリテーション部	910,000	補委 日本学術振興会
ダーモスコピー画像を用いた皮膚腫瘍スクリーニングシステムの構築	佐野 佑	皮膚科	1,560,000	補委 日本学術振興会
TRPV1阻害による心筋障害リバースリモデリングと心室性不整脈耐性の検討	吉江 幸司	不整脈治療学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来心筋細胞移植後の不整脈抑制方法の開発	小林 秀樹	循環器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
全身性動脈硬化疾患の発症とその予後における石灰化抑制因子の意義の研究	千田 啓介	循環器内科	130,000	補委 日本学術振興会
近位尿管管特異的PPAR α 欠損マウスを用いたPPAR α の腎保護作用の検討	山田 洋輔	内科(2)	1,430,000	補委 日本学術振興会
包括的アプローチによる血管型エーラス・ダンロス症候群の分子遺伝学的発症機序の解明	山口 智美	遺伝子医療研究センター	1,690,000	補委 日本学術振興会
腹腔鏡手術の痛み:モデルラットによる術中術後痛のメカニズム解明と有効鎮痛法の検討	中村 博之	麻酔科蘇生科	2,080,000	補委 日本学術振興会
思春期特発性側弯症に対する低侵襲矯正固定術のための固定範囲決定手法	大場 悠己	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
カーボンナノマテリアル誘導骨芽細胞活性化機序に基づく骨形成促進薬の開発	出田 宏和	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
人工関節インプラントにおける晩期感染症の病態解析	鎌仲 貴之	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
エーラス・ダンロス症候群における脊椎病変の病態解明・治療法の確立	上原 将志	整形外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
OTOA遺伝子変異による難聴の臨床像と発症メカニズムに関する研究	北野 友裕	耳鼻いんこう科	1,040,000	補委 日本学術振興会
IBD関連腫瘍におけるSATB2発現に関与する分子生物学的メカニズムの探索	岩谷 舞	臨床検査部	650,000	補委 日本学術振興会
成人ASDのうつ状態合併のリスク	金子 智喜	放射線科	910,000	補委 日本学術振興会
IgG4関連大動脈周囲炎における動脈瘤形成に関与する臨床的、画像的因子の研究	高橋 正明	放射線科	1,430,000	補委 日本学術振興会
消化器病自己免疫性疾患発症と細胞膜上HLA抗原発現量多様性の解析	山崎 智生	内科(2)	2,080,000	補委 日本学術振興会
甲状腺ホルモン結合蛋白(CRYM)欠損における肥満及びPPAR γ 上昇と機序の解明	大久保 洋輔	糖尿病・内分泌代謝内科	1,170,000	補委 日本学術振興会
肝疾患根治術の為の肝組織の統合的理解と肝再生療法への展開	安川 紘矢	消化器外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
慢性心筋梗塞に対する自家iPS細胞を用いた新たな心筋再生療法の開発	市村 創	心臓血管外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
移植後拒絶反応におけるNLRP3の役割	五味淵 俊仁	外科(2)	1,430,000	補委 日本学術振興会
肺癌における発癌や癌の進行への細菌叢の影響	小山 力	呼吸器外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
肺癌の経気腔進展(STAS)における転移機序の解明	江口 隆	呼吸器外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
マクロファージの β 2アドレナリン受容体シグナルを介した周術期鎮痛法の開発	若林 諒	麻酔科蘇生科	910,000	補委 日本学術振興会
アロプレグナロンおよびオキシトシンは帝王切開術後遷延性術後痛の発症に影響するか	伊藤 真理子	麻酔科蘇生科	1,950,000	補委 日本学術振興会
手術侵襲による術中脳波変化と術後痛の関連	田中 竜介	麻酔科蘇生科	2,210,000	補委 日本学術振興会
大動物モデルを用いた膝前十字靱帯再建における高強度縫合糸補強の有用性評価	天正 恵治	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
Myostatinによる未分化間葉系細胞の腱細胞への分化誘導メカニズムの解明	北村 陽	整形外科	1,300,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨肉腫を標的としたエクソソーム様細胞外小胞化ナノマテリアルを応用したDDS開発	傍島 淳	整形外科	2,600,000	補委 日本学術振興会
血管異常と血栓の共通基盤分子を通じた形成外科上の血管病理の解明	細見 謙登	高度救命救急センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
敗血症患者に対する専従理学療法士配置による早期リハビリテーション効果の検討	酒井 康成	リハビリテーション部	780,000	補委 日本学術振興会
下部尿路微小循環障害の実験系確立とTRPチャンネルの微小循環に対する役割の検討	皆川 倫範	泌尿器科	0	補委 日本学術振興会
交感神経系による免疫系制御を介した重症患者の新たな治療戦略	杉山 由紀	麻酔科蘇生科	0	補委 日本学術振興会
複数の遺伝子変異が関与する遺伝性難聴症例の解析	森 健太郎	耳鼻いんこう科	0	補委 日本学術振興会
下肢静脈エコー検査時の検査ベッドの違いによる患者・検査者満足度について	小原 美歌	臨床検査部	0	補委 日本学術振興会
変性HDLの生化学的特性の測定値に及ぼす影響の解析	宇佐美 陽子	臨床検査部	480,000	補委 日本学術振興会
脂肪由来間葉系幹細胞の遺伝子解析を利用した治療メカニズム解明と細胞治療法の改良	神村 豊	内科(2)	1,300,000	補委 日本学術振興会
遷延性術後痛における、CGRP-RAMP1系の病態生理学的意義の解明と応用展開	松井 周平	麻酔科蘇生科	1,430,000	補委 日本学術振興会
腸管外病原性大腸菌small-colony variantにおける病原性因子の発現解析	根岸 達哉	臨床検査部	450,000	補委 日本学術振興会
HPVワクチン接種後に生じた症状に関する診療体制の整備のための研究	池田 修一	難病診療センター	4,970,000	補委 厚生労働省
地域のステーキホルダーと連携して一貫型支援を行う信州型医療機器開発拠点	杉原 伸宏	学術研究・産学官連携推進機構 学術研究支援本部	15,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
中等度腎機能障害を有する2型糖尿病患者に対するメアナの安全性に関する検討 (AMELIO study)	駒津光久	糖尿病・内分泌内科	0	補委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
うっ血性心不全(心性浮腫)患者における五苓散追加投与の浮腫に対する有効性を検証する研究 [GOREISAN for Heart Failure Trial(GOREISAN-HF Trial)]	桑原宏一郎	循環器内科	0	補委 一般財団法人 生産開発科学研究所
小児遺伝性血液疾患を対象とした前方視的研究	齋藤章治	小児科	0	補委 国立大学法人 東海国立大学機構
早期爪部悪性黒色腫の診断支援プログラム:臨床性能評価試験プロトコルの作成	皆川茜	皮膚科	4,869,800	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
JMMLに対する標準的治療法確立	齋藤章治	小児科	300,300	補委 国立大学法人名古屋大学
救急センター・集中治療室に入室した敗血症患者における早期リハビリテーション効果の検討-多施設共同研究によるNon-Randomized Controlled Trial-	酒井康成	リハビリテーション部	0	補委 社会医療法人財団慈恵会 相澤病院
頭頸部腫瘍放射線治療時の口腔カンジダ症に対するオラビR錠の発症予防効果に関する他施設共同介入試験	山田慎一	特殊歯科・口腔外科	0	補委 国立大学法人長崎大学
コルヒチン無効あるいは不耐の家族性地中海熱(FMF)を対象としたトシズマブの継続投与試験	岸田大	リウマチ・膠原病内科	605,000	補委 国立大学法人長崎大学
胎児発育不全に対するタダラフィル母体経口投与の有効性・安全性に関する臨床試験プラセボ対照ランダム化比較第Ⅱ相多施設共同研究	菊地範彦	産科婦人科	353,304	補委 国立大学法人三重大
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	駒津光久	糖尿病・内分泌内科	300,000	補委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
がんに対するpiggyBac遺伝子導入新規キメラ抗原受容体(CAR)-T細胞療法開発に関する国際共同研究(AMED)	齋藤章治	小児科	13,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
イメージングデータを用いた皮膚がん診断ソリューション開発(AMED)	奥山隆平	皮膚科	137,735,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
IL-12発現型がん治療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する革新的ウイルス免疫療法開発(AMED)	奥山隆平	皮膚科	83,200,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

計 89

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Hirabayashi M, Ozawa M, Kako S, et al.	消化器内科	[Pancreatic adenocarcinoma:a case containing a cyst enclosing a dilated tubular gland duct]	Nihon Shokakibyo Gakkai Zasshi. 2021;118(7):679-685. doi: 10.11405/nisshoshi.118.679.	Case Reports
2	Watanabe T, Oba T, Tanimoto K, et al.	乳腺・内分泌外科	Tamoxifen resistance alters sensitivity to 5-fluorouracil in a subset of estrogen receptor-positive breast cancer	PLoS One. 2021 Jun 8;16(6):e0252822. doi: 10.1371/journal.pone.0252822. eCollection 2021.	Journal Article
3	Tsukada K, Usami SI.	耳鼻咽喉科	Vestibular Preservation After Cochlear Implantation Using the Round Window Approach	Front Neurol. 2021 Apr 27;12:656592. doi: 10.3389/fneur.2021.656592. eCollection 2021.	Journal Article
4	Hasegawa A, Saito S, Narimatsu S, et al.	小児科	Mutated GM-CSF-based CAR-T cells targeting CD116/CD131 complexes exhibit enhanced anti-tumor effects against acute myeloid leukaemia	Clin Transl Immunology. 2021 May 6;10(5):e1282. doi: 10.1002/cti2.1282. eCollection 2021.	Journal Article
5	Sugiyama Y, Aiba K, Arai N, et al.	麻酔科蘇生科	Successful Management of a Patient with Intraoperative Bleeding of More than 80,000mL and Usefulness of QTc Monitoring for Calcium Correction	Case Rep Anesthesiol. 2021 Apr 15;2021:6635696. doi: 10.1155/2021/6635696. eCollection 2021.	Case Reports

6	Nakamura K, Yagyu S, Hirota S, et al.	小児科	Autologous antigen-presenting cells efficiently expand piggyBac transposon CAR-T cells with predominant memory phenotype	Mol Ther Methods Clin Dev. 2021 Mar 23;21:315–324. doi: 10.1016/j.omtm.2021.03.011. eCollection 2021 Jun 11.	Journal Article
7	Okano S, Nishizawa H, Yui J; PTS, et al.	保健学科	Convergent validity of a simplified device and relationship between blood lactate and salivary lactate after a vertical squat jump in healthy non-athletes	J Phys Ther Sci. 2021 Mar;33(3):187–193. doi: 10.1589/jpts.33.187. Epub 2021 Mar 17.	Journal Article
8	Yamashita Y, Joshita S, Kobayashi H, et al.	消化器内科	Primary Hepatic Extranodal Marginal Zone Lymphoma of Mucosa-Associated Lymphoid Tissue in a Patient with Chronic Hepatitis B Virus Infection: Case Report and Summary of the Literature	Medicina (Kaunas). 2021 Mar 18;57(3):280. doi: 10.3390/medicina57030280.	Case Reports
9	Wakabayashi SI, Joshita S, Kimura K, et al.	消化器内科	Protocol: Prospective observational study investigating the prevalence and clinical outcome of portopulmonary hypertension in Japanese patients with chronic liver disease	PLoS One. 2021 Apr 1;16(4):e0249435. doi: 10.1371/journal.pone.0249435. eCollection 2021.	Journal Article
10	Usami Y, Sugano M, Uehara T, et al.	臨床検査部	Cut-off values of serum IgG4 among three reagents, including a novel IgG4 reagent: a multicenter study	Sci Rep. 2021 Mar 31;11(1):7280. doi: 10.1038/s41598-021-86024-5.	Journal Article
11	Fujii Y, Ogiwara T, Yamazaki D, et al.	脳神経外科	Late malignant transformation of anaplastic meningioma 18 years after primary surgery: A case report	J Clin Neurosci. 2021 Apr;86:136–138. doi: 10.1016/j.jocn.2021.01.027. Epub 2021 Feb 5.	Case Reports

12	Yoshiyama Y, Sugiyama Y, Ishida K, et al.	麻醉科蘇生科	Plantar incision with severe muscle injury can be a cause of long-lasting postsurgical pain in the skin	Life Sci. 2021 Jun 15;275:119389. doi: 10.1016/j.lfs.2021.119389 . Epub 2021 Mar 24.	Journal Article
13	Nakamura K, Kiniwa Y, Okuyama R.,	皮膚科	CCL5 production by fibroblasts through a local renin- angiotensin system in malignant melanoma affects tumor immune responses	J Cancer Res Clin Oncol. 2021 Jul;147(7):1993- 2001. doi: 10.1007/s00432-021- 03612-8. Epub 2021 Mar 26.	Journal Article
14	Hayashi W, Yoshida S, Izumi K, et al.	保健学科	Genomic characterisation and epidemiology of nosocomial Serratia marcescens isolates resistant to ceftazidime and their plasmids mediating rare bla(TEM-61)	J Glob Antimicrob Resist. 2021 Jun;25:124-131. doi: 10.1016/j.jgar.2021.03.01 0. Epub 2021 Mar 21.	Journal Article
15	Nakazawa H, Yamaguchi T, Sakai H, et al.	血液内科	A novel germline GATA2 frameshift mutation with a premature stop codon in a family with congenital sensory hearing loss and myelodysplastic syndrome	Int J Hematol. 2021 Mar 23. doi: 10.1007/s12185- 021-03130-w. Online ahead of print.	Journal Article
16	Kakihara S, Hirano T, Imai A, et al.	眼科	Micropulse laser trabeculoplasty under maximal tolerable glaucoma eyedrops: treatment effectiveness and impact of surgical expertise	Int J Ophthalmol. 2021 Mar 18;14(3):388-392. doi: 10.18240/ijo.2021.03.09. eCollection 2021.	Journal Article
17	Kiniwa Y, Nakamura K, Mikoshiha A, et al.	皮膚科	Usefulness of monitoring circulating tumor cells as a therapeutic biomarker in melanoma with BRAF mutation	BMC Cancer. 2021 Mar 17;21(1):287. doi: 10.1186/s12885-021- 08016-y.	Journal Article

18	Yamada SI, Koike K, Isomura ET, et al.	特殊歯科・口腔外科	The effects of perioperative oral management on perioperative serum albumin levels in patients treated surgically under general anesthesia: A multicenter retrospective analysis in Japan	Medicine (Baltimore). 2021 Mar 12;100(10):e25119. doi: 10.1097/MD.00000000000025119.	Journal Article
19	Yoshie K, Yamasaki M, Yokoyama M, et al.	高度救命救急センター	Prognostic benefits of prior amiodarone or β -blocker use before the onset of ventricular arrhythmia with hemodynamic collapse	Heart Vessels. 2021 Mar 15. doi: 10.1007/s00380-021-01821-2. Online ahead of print.	Journal Article
20	Hirabayashi K, Hoshiyama K, Imai A, et al.	眼科	Relationship between central retinal sensitivity, thickness, perfusion density and visual acuity in patients with branch retinal vein occlusion	Acta Ophthalmol. 2021 Mar 14. doi: 10.1111/aos.14841. Online ahead of print.	Letter
21	Matsuda H, Minagawa T, Agatsuma H, et al.	泌尿器科	Pleural and pulmonary metastases from nonseminomatous germ cell tumors successfully managed by extrapleural pneumonectomy	IJU Case Rep. 2021 Jan 25;4(2):89-91. doi: 10.1002/iju5.12250. eCollection 2021 Mar.	Case Reports
22	Sonehara K, Tateishi K, Araki T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Prognostic value of the geriatric nutritional risk index among patients with previously treated advanced non-small cell lung cancer who subsequently underwent immunotherapy	Thorac Cancer. 2021 May;12(9):1366-1372. doi: 10.1111/1759-7714.13909. Epub 2021 Mar 12.	Journal Article
23	Kishida D, Ushiyama S, Shimajima Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Painless Panniculitis upon the Treatment of Clinically Amyopathic Dermatomyositis with Anti-MDA5 Antibody	Intern Med. 2021 Mar 8. doi: 10.2169/internalmedicine.6931-20. Online ahead of print.	Journal Article

24	Ehara T, Uehara T, Nakajima T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	LGR5 expression is associated with prognosis in poorly differentiated gastric adenocarcinoma	BMC Cancer. 2021 Mar 6;21(1):228. doi: 10.1186/s12885-021-07913-6.	Journal Article
25	Okada A, Kato K, Shoda M, et al.	循環器内科	Successful catheter ablation of atrial tachycardia in cor triatriatum sinister: A figure-of-8 reentry in the left atrial membrane	HeartRhythm Case Rep. 2020 Dec 2;7(2):109-111. doi: 10.1016/j.hrcr.2020.11.013. eCollection 2021 Feb.	Case Reports
26	Hayashi H, Shimizu A, Motoyama T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Usefulness and limitation of indocyanine green fluorescence for detection of peritoneal recurrence after hepatectomy for hepatocellular carcinoma: a case report	BMC Surg. 2021 Mar 2;21(1):107. doi: 10.1186/s12893-021-01111-8.	Case Reports
27	Sekiguchi N, Komatsu M, Ichiyama T, et al.	包括的がん治療学	CCR4-positive peripheral T-cell lymphoma presenting as eosinophilic pneumonia and developing from prolonged pustular psoriasis	J Int Med Res. 2021 Feb;49(2):300060521996165. doi: 10.1177/0300060521996165.	Case Reports
28	Nakajima H, Maeno K, Ito T, et al.	乳腺・内分泌外科	Concomitant use of (18)F-FDG PET-CT SUVmax is useful in the assessment of Ki67 labeling index in core-needle biopsy specimens of breast cancer	Gland Surg. 2021 Jan;10(1):1-9. doi: 10.21037/gs-20-485.	Journal Article
29	Sonehara K, Tateishi K, Araki T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	The Role of Immune-Related Adverse Events in Prognosis and Efficacy Prediction for Patients with Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Immunotherapy: A Retrospective Clinical Analysis	Oncology. 2021;99(5):271-279. doi: 10.1159/000511999. Epub 2021 Feb 25.	Journal Article

30	Hirano T, Toriyama Y, Takamura Y, et al.	眼科	Outcomes of a 2-year treat-and-extend regimen with afibercept for diabetic macular edema	Sci Rep. 2021 Feb 24;11(1):4488. doi: 10.1038/s41598-021- 83811-y.	Journal Article
31	Sonehara K, Tateishi K, Hirabayashi T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	A Case of Lung Adenocarcinoma with Long-Term Response after Late-Onset Pembrolizumab- Induced Acute Adrenal Insufficiency	Case Rep Oncol. 2021 Jan 11;14(1):1-7. doi: 10.1159/000508068. eCollection 2021 Jan-Apr.	Case Reports
32	Harada M, Motoki H, Sakai T, et al.	循環器内科	Granulocyte colony stimulating factor- associated aortitis evaluated via multiple imaging modalities including vascular echography: a case report	Eur Heart J Case Rep. 2020 Dec 23;5(2):ytaa503. doi: 10.1093/ehjcr/ytaa503. eCollection 2021 Feb.	Journal Article
33	Komatsu M, Watada H, Kaneko S, et al.	糖尿病・内分泌代謝内科	Efficacy and safety of the fixed-ratio combination of insulin degludec and liraglutide by baseline glycated hemoglobin, body mass index and age in Japanese individuals with type 2 diabetes: A subgroup analysis of two phase III trials	J Diabetes Investig. 2021 Feb 17. doi: 10.1111/jdi.13525. Online ahead of print.	Journal Article
34	Kawamoto M, Yamada SI, Gibo T, et al.	特殊歯科・口腔外科	Relationship between dry mouth and hypertension	Clin Oral Investig. 2021 Feb 16. doi: 10.1007/s00784-021- 03829-4. Online ahead of print.	Journal Article
35	Iwaya M, Hayashi H, Nakajima T, et al.	臨床検査部	Colitis-associated colorectal adenocarcinomas frequently express claudin 18 isoform 2: implications for claudin 18.2 monoclonal antibody therapy	Histopathology. 2021 Feb 16. doi: 10.1111/his.14358. Online ahead of print.	Journal Article

36	Sakurai A, Yamada SI, Karasawa I, et al.	特殊歯科・口腔外科	Accuracy of a salivary examination kit for the screening of periodontal disease in a group medical check-up (Japanese- specific health check-up)	Medicine (Baltimore). 2021 Feb 12;100(6):e24539. doi: 10.1097/MD.0000000000 024539.	Journal Article
37	Yasukawa K, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Applicability of sentinel lymph node oriented treatment strategy for gallbladder cancer	PLoS One. 2021 Feb 12;16(2):e0247079. doi: 10.1371/journal.pone.024 7079. eCollection 2021.	Journal Article
38	Yamamoto S, Yamaga T, Kawachi S, et al.	リハビリテーション部	Cochrane corner: Positive airway pressure therapy for the treatment of central sleep apnoea associated with heart failure	Heart. 2021 Feb 10:heartjnl-2020-317888. doi: 10.1136/heartjnl- 2020-317888. Online ahead of print.	Journal Article
39	Hirano T, Toriyama Y, Takamura Y, et al.	眼科	Treat-and-extend therapy with afibercept for diabetic macular edema: a prospective clinical trial	Jpn J Ophthalmol. 2021 May;65(3):354-362. doi: 10.1007/s10384-021- 00820-0. Epub 2021 Feb 9.	Journal Article
40	Kobayashi H, Tabata H, Shoin W, et al.	循環器内科	A case of transient ventricular pre- excitation associated with takotsubo cardiomyopathy	J Electrocardiol. 2021 Mar-Apr;65:73-75. doi: 10.1016/j.jelectrocard.202 1.01.005. Epub 2021 Jan 21.	Case Reports
41	Minagawa T, Oguchi T, Saitou T, et al.	泌尿器科	Impact of low-dose tadalafil on adverse events after low- dose-rate brachytherapy for prostate cancer: A bi-center randomized open-label trial	Int J Urol. 2021 Apr;28(4):432-438. doi: 10.1111/iju.14487. Epub 2021 Feb 7.	Journal Article

42	Tsukahara Y, Okajima Y, Yamada A, et al.	放射線科	The peritumoral hypointense rim around hepatocellular carcinoma on T2*-weighted magnetic resonance imaging: radiologic-pathologic correlation	World J Surg Oncol. 2021 Feb 6;19(1):41. doi: 10.1186/s12957-021-02152-2.	Journal Article
43	Kito M, Okamoto M, Aoki K, et al.	整形外科	Distal femoral impaction bone grafting in revision for tumor endoprosthesis	Knee. 2021 Mar;29:42-48. doi: 10.1016/j.knee.2021.01.016. Epub 2021 Feb 4.	Case Reports
44	Iwaya M, Ota H, Nakajima T, et al.	臨床検査部	Most colitis associated carcinomas lack expression of LGR5: a preliminary study with implications for unique pathways of carcinogenesis compared to sporadic colorectal carcinoma	BMC Cancer. 2021 Feb 4;21(1):119. doi: 10.1186/s12885-021-07835-3.	Journal Article
45	Ide Y, Yanagisawa R, Kobayashi J, et al.	臨床検査部	Relationship between allergic sensitisation-associated single-nucleotide polymorphisms and allergic transfusion reactions and febrile non-haemolytic transfusion reactions in paediatric cases	Blood Transfus. 2021 Feb 3. doi: 10.2450/2021.0230-20. Online ahead of print.	Journal Article
46	Oguchi N, Yamamoto S, Terashima S, et al.	リハビリテーション部	The modified water swallowing test score is the best predictor of postoperative pneumonia following extubation in cardiovascular surgery: A retrospective cohort study	Medicine (Baltimore). 2021 Jan 29;100(4):e24478. doi: 10.1097/MD.00000000000024478.	Journal Article
47	Konno S, Yanagisawa R, Motoki N, et al.	臨床検査部	Predictive factors of poor blood collecting flow during leukocyte apheresis for cellular therapy	Ther Apher Dial. 2021 Feb 1. doi: 10.1111/1744-9987.13631. Online ahead of print.	Journal Article

48	Miyake T, Minagawa A, Ito S, et al.	皮膚科	Utility of Melanin Degradation Products in the Nail for Diagnosing Nail Apparatus Melanoma	Acta Derm Venereol. 2021 Feb 9;101(2):adv00387. doi: 10.2340/00015555-3757.	Journal Article
49	Koyama M, Yamazaki T, Joshita S, et al.	消化器内科	An Autopsy Case of Primary Biliary Cholangitis with Histological Submassive Hepatic Necrosis Caused by Acute Hepatitis E Virus Infection	Intern Med. 2021 Jun 15;60(12):1863-1870. doi: 10.2169/internalmedicine.6337-20. Epub 2021 Feb 1.	Case Reports
50	Koizumi T, Kanda S, Nihonmatsu R, et al.	包括的がん治療学	Primary mediastinal germ cell tumors – A retrospective analysis of >30years of experience in a single institution	Thorac Cancer. 2021 Mar;12(6):807-813. doi: 10.1111/1759-7714.13859. Epub 2021 Jan 27.	Journal Article
51	Hosoda K, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	A focal extramedullary hematopoiesis of the spleen in a patient with essential thrombocythemia presenting with a complicated postoperative course: a case report	Surg Case Rep. 2021 Jan 26;7(1):33. doi: 10.1186/s40792-021-01119-5.	Journal Article
52	Banno T, Yamato Y, Oba H, et al.	整形外科	Preoperative Thoracic Curve Magnitude and L4 end Vertebra were Risk Factors for Subjacent Disc Wedging after Selective Thoracolumbar/Lumbar Fusion with L3 as the Lowest Instrumented Vertebra in Lenke type 5 Curve Patients	Spine (Phila Pa 1976). 2021 Jan 25. doi: 10.1097/BRS.00000000000003961. Online ahead of print.	Journal Article
53	Koyama T, Shimizu K, Uehara T, et al.	呼吸器外科	Synchronous triple primary lung cancer with three different histological subtypes in the same lobe: A case report	Thorac Cancer. 2021 Mar;12(5):711-714. doi: 10.1111/1759-7714.13796. Epub 2021 Jan 20.	Case Reports

54	Takemori Y, Sasayama D, Toida Y, et al.	子どものこころ診療部	Possible utilization of salivary IFN- γ /IL-4 ratio as a marker of chronic stress in healthy individuals	Neuropsychopharmacol Rep. 2021 Mar;41(1):65-72. doi: 10.1002/npr2.12157. Epub 2021 Jan 19.	Journal Article
55	Nakamura C, Miyosawa Y, Motoki N, et al.	小児科	Relationship between placental weight and late-onset circulatory collapse	Pediatr Int. 2021 Jan 18. doi: 10.1111/ped.14609. Online ahead of print.	Journal Article
56	Oba T, Ono M, Matoba H, et al.	乳腺・内分泌外科	HDAC6 inhibition enhances the anti-tumor effect of eribulin through tubulin acetylation in triple-negative breast cancer cells	Breast Cancer Res Treat. 2021 Feb;186(1):37-51. doi: 10.1007/s10549-020-06033-2. Epub 2021 Jan 16.	Journal Article
57	Yamada Y, Harada M, Hara Y, et al.	腎臓内科	Efficacy of plasma exchange for antineutrophil cytoplasmic antibody-associated systemic vasculitis: a systematic review and meta-analysis	Arthritis Res Ther. 2021 Jan 14;23(1):28. doi: 10.1186/s13075-021-02415-z.	Journal Article
58	Ogiwara T, Horiuchi T.	脳神経外科	Letter to the Editor: Endoscopic surgical strategy of pineal cyst-associated aqueductal stenosis	Acta Neurochir (Wien). 2021 Mar;163(3):739-740. doi: 10.1007/s00701-021-04709-2. Epub 2021 Jan 13.	Letter
59	Okada A, Shoda M, Tabata H, et al.	循環器内科	Simultaneous infection of abandoned leads and newly implanted leadless cardiac pacemaker: Why did this occur?	J Cardiol Cases. 2020 Oct 3;23(1):35-37. doi: 10.1016/j.jccase.2020.09.005. eCollection 2021 Jan.	Case Reports

60	Murata T, Kondo M, Inoue M, et al.	眼科	The randomized ZIPANGU trial of ranibizumab and adjunct laser for macular edema following branch retinal vein occlusion in treatment-naïve patients	Sci Rep. 2021 Jan 12;11(1):551. doi: 10.1038/s41598-020- 79051-1.	Journal Article
61	Araki T, Tateishi K, Sonehara K, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Clinical utility of the C-reactive protein:albumin ratio in non-small cell lung cancer patients treated with nivolumab	Thorac Cancer. 2021 Mar;12(5):603-612. doi: 10.1111/1759- 7714.13788. Epub 2021 Jan 12.	Journal Article
62	Suzuki T, Aonuma T, Oyama K, et al.	放射線科	High-resolution three-dimensional T1-weighted hepatobiliary MR cholangiography using Gd-EOB- DTPA for assessment of biliary tree anatomy: Parallel imaging versus compressed sensing	Eur J Radiol. 2021 Mar;136:109515. doi: 10.1016/j.ejrad.2020.1095 15. Epub 2021 Jan 2.	Journal Article
63	Kakihara S, Hirano T, Matsuda Y, et al.	眼科	Deposits on Retinal Surface Seen on OCT in Ocular Amyloidosis	Ophthalmol Retina. 2021 Jan 7:S2468- 6530(20)30514-5. doi: 10.1016/j.oret.2020.12.02 8. Online ahead of print.	Journal Article
64	Oba T, Maeno K, Ono M, et al.	乳腺・内分泌外科	Prognostic Nutritional Index Is Superior to Neutrophil-to- lymphocyte Ratio as a Prognostic Marker in Metastatic Breast Cancer Patients Treated With Eribulin	Anticancer Res. 2021 Jan;41(1):445-452. doi: 10.21873/anticancer.1479 4.	Journal Article
65	Yamamoto Y, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	A perpendicular approach to mesorectal excision using an articulating tissue sealer in laparoscopic sigmoidectomy—a video vignette	Colorectal Dis. 2021 Apr;23(4):1008. doi: 10.1111/codi.15516. Epub 2021 Feb 5.	Letter

66	Okada A, Tabata H, Shoda M, et al.	循環器内科	Safe and effective transvenous lead extraction for elderly patients utilizing non-laser and laser tools: a single-center experience in Japan	Heart Vessels. 2021 Jun;36(6):882-889. doi: 10.1007/s00380-020-01761-3. Epub 2021 Jan 4.	Journal Article
67	Komatsu M, Ekelund M, Horio H, et al.	糖尿病・内分泌代謝内科	Efficacy and safety of fast-acting insulin aspart compared with insulin aspart in combination with insulin degludec in Japanese adults with type 1 diabetes: a subgroup analysis of the randomized onset 8 trial	Endocr J. 2021 Apr 28;68(4):429-440. doi: 10.1507/endocrj.EJ20-0606. Epub 2020 Dec 26.	Journal Article
68	Ohya A, Ichinohe F, Matoba H, et al.	放射線科	Useful preoperative examination findings to classify the grade of ovarian primary mucinous tumor	Abdom Radiol (NY). 2021 Jun;46(6):2393-2402. doi: 10.1007/s00261-020-02918-4. Epub 2021 Jan 2.	Journal Article
69	Kimura T, Tanaka N, Fujimori N, et al.	消化器内科	Serum thrombospondin 2 is a novel predictor for the severity in the patients with NAFLD	Liver Int. 2021 Mar;41(3):505-514. doi: 10.1111/liv.14776. Epub 2021 Jan 20.	Journal Article
70	Ogiwara T, Goto T, Fujii Y, et al.	脳神経外科	Endoscopic Endonasal Approach in the Smart Cyber Operating Theater (SCOT): Preliminary Clinical Application	World Neurosurg. 2021 Mar;147:e533-e537. doi: 10.1016/j.wneu.2020.12.114. Epub 2020 Dec 30.	Journal Article
71	Tanaka M, Kakiyama S, Hirabayashi K, et al.	循環器内科	Adrenomedullin-Receptor Activity-Modifying Protein 2 System Ameliorates Subretinal Fibrosis by Suppressing Epithelial-Mesenchymal Transition in Age-Related Macular Degeneration	Am J Pathol. 2021 Apr;191(4):652-668. doi: 10.1016/j.ajpath.2020.12.012. Epub 2020 Dec 29.	Journal Article

72	Yamada SI, Kondo E, Hashidume M, et al.	特殊歯科・口腔外科	A retrospective investigation of minor risk factors as prognostic predictors and treatment indications in oral squamous cell carcinoma	J Dent Sci. 2021 Jan;16(1):445-452. doi: 10.1016/j.jds.2020.09.012 . Epub 2020 Oct 7.	Journal Article
73	Yamada SI, Kurita H, Tanaka A, et al.	特殊歯科・口腔外科	Questionnaire survey of angiogenesis inhibitor-related oral complications based on a nation-wide study in Japan	J Dent Sci. 2021 Jan;16(1):375-379. doi: 10.1016/j.jds.2020.01.004 . Epub 2020 Mar 15.	Journal Article
74	Koyama Y, Ohmori N, Momose H, et al.	特殊歯科・口腔外科	Detection of swallowing disorders using a multiple channel surface electromyography sheet: A preliminary study	J Dent Sci. 2021 Jan;16(1):160-167. doi: 10.1016/j.jds.2020.06.009 . Epub 2020 Jul 2.	Journal Article
75	Tanaka A, Okamoto M, Kito M, et al.	整形外科	Points of consideration when performing surgical procedures for proximal femoral bone metastasis	J Orthop Sci. 2020 Dec 28:S0949-2658(20)30351-1. doi: 10.1016/j.jos.2020.11.011 . Online ahead of print.	Journal Article
76	Kitamura S, Horiuchi T.	脳神経外科	Superficial temporal artery aneurysm with segmental arterial mediolysis: a case report	Br J Neurosurg. 2020 Dec 30:1-4. doi: 10.1080/02688697.2020.1867705. Online ahead of print.	Journal Article
77	Akahane J, Ushiki A, Kosaka M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Blood urea nitrogen-to-serum albumin ratio and A-DROP are useful in assessing the severity of Pneumocystis pneumonia in patients without human immunodeficiency virus infection	J Infect Chemother. 2021 May;27(5):707-714. doi: 10.1016/j.jiac.2020.12.017. Epub 2020 Dec 26.	Journal Article

78	Isaka Y, Nishio SY, Hishinuma E, et al.	人工聴覚器学講座	Improvement of a Rapid and Highly Sensitive Method for the Diagnosis of the Mitochondrial m.1555A>G Mutation Based on a Single- Stranded Tag Hybridization Chromatographic Printed-Array Strip	Genet Test Mol Biomarkers. 2021 Jan;25(1):79-83. doi: 10.1089/gtmb.2020.0105. Epub 2020 Dec 28.	Journal Article
79	Suzuki D, Yamada SI, Sakurai A, et al.	特殊歯科・口腔外科	Correlations between the properties of saliva and metabolic syndrome: A prospective observational study	Medicine (Baltimore). 2020 Dec 18;99(51):e23688. doi: 10.1097/MD.0000000000 023688.	Journal Article
80	Shiozawa A, Yamaori S, Kamijo S, et al.	薬剤部	Effects of acid and lactone forms of statins on S-warfarin 7-hydroxylation catalyzed by human liver microsomes and recombinant CYP2C9 variants (CYP2C9.1 and CYP2C9.3)	Drug Metab Pharmacokinet. 2021 Feb;36:100364. doi: 10.1016/j.dmpk.2020.10.0 03. Epub 2020 Oct 29.	Journal Article
81	Kiniwa Y, Okuyama R.	皮膚科	Recent advances in molecular targeted therapy for unresectable and metastatic BRAF- mutated melanoma	Jpn J Clin Oncol. 2021 Mar 3;51(3):315-320. doi: 10.1093/jjco/hyaa222.	Journal Article
82	Ide S, Kawamata T, Ishida K, et al.	麻酔科蘇生科	Phospholipase C β 3 Expressed in Mouse DRGs is Involved in Inflammatory and Postoperative Pain	J Pain Res. 2020 Dec 10;13:3371-3384. doi: 10.2147/JPR.S280565. eCollection 2020.	Journal Article
83	Ohya A, Kobara H, Miyamoto T, et al.	放射線科	Usefulness of the 'cosmos pattern' for differentiating between cervical gastric-type mucin- positive lesions and other benign cervical cystic lesions in magnetic resonance images	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Feb;47(2):745-756. doi: 10.1111/jog.14602. Epub 2020 Dec 16.	Journal Article

84	Nakano M, Nakamura Y, Suzuki T, et al.	整形外科	Pentosidine and carboxymethyl-lysine associate differently with prevalent osteoporotic vertebral fracture and various bone markers	Sci Rep. 2020 Dec 16;10(1):22090. doi: 10.1038/s41598-020-78993-w.	Journal Article
85	Kaido T, Yoda M, Kamijo T, et al.	臨床検査部	A Novel Amino Acid Substitution, Fibrinogen B β p.Pro234Leu, Associated with Hypofibrinogenemia Causing Impairment of Fibrinogen Assembly and Secretion	Int J Mol Sci. 2020 Dec 10;21(24):9422. doi: 10.3390/ijms21249422.	Journal Article
86	Uehara M, Kuraishi S, Ikegami S, et al.	整形外科	Long-Term Surgical Results of Skip Pedicle Screw Fixation for Patients with Adolescent Idiopathic Scoliosis: A Minimum-Ten-Year Follow-Up Study	J Clin Med. 2020 Dec 10;9(12):4002. doi: 10.3390/jcm9124002.	Journal Article
87	Sobajima A, Okihara T, Moriyama S, et al.	整形外科	Multiwall Carbon Nanotube Composites as Artificial Joint Materials	ACS Biomater Sci Eng. 2020 Dec 14;6(12):7032-7040. doi: 10.1021/acsbiomaterials.0c00916. Epub 2020 Oct 20.	Journal Article
88	Nishio SY, Tono T, Iwaki T, et al.	人工聴覚器学講座	Development and validation of an iPad-based Japanese language monosyllable speech perception test (iCI2004 monosyllable)	Acta Otolaryngol. 2021 Mar;141(3):267-272. doi: 10.1080/00016489.2020.1853229. Epub 2020 Dec 15.	Journal Article
89	Nakamura T, Sasayama D, Hagiwara T, et al.	精神科	Reduced functional connectivity in the prefrontal cortex of elderly catatonia patients: A longitudinal study using functional near-infrared spectroscopy	Neurosci Res. 2020 Dec 11:S0168-0102(20)30485-5. doi: 10.1016/j.neures.2020.10.004. Online ahead of print.	Journal Article

90	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Values for the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in the general elderly population: A Japanese cohort survey randomly sampled from a basic resident registry	J Orthop Sci. 2020 Dec 10:S0949-2658(20)30260-8. doi: 10.1016/j.jos.2020.08.010 . Online ahead of print.	Journal Article
91	Tsunekawa K, Kondoh S, Noguchi M, et al.	形成外科	Aesthetic outcomes following adipose flap versus fillet flap technique for radial polydactyly: a comparison study	J Hand Surg Eur Vol. 2021 May;46(4):378-383. doi: 10.1177/1753193420979220. Epub 2020 Dec 10.	Journal Article
92	Higuchi S, Ogawa M, Masuda Y, et al.	整形外科	3D-CT stress test for the assessment of CFL insufficiency	J Orthop Sci. 2020 Dec 6:S0949-2658(20)30327-4. doi: 10.1016/j.jos.2020.10.012 . Online ahead of print.	Journal Article
93	Yanagisawa R.	輸血部	Preventing adverse reactions in pediatric transfusions using washed platelet concentrate	Pediatr Int. 2021 Apr;63(4):391-403. doi: 10.1111/ped.14572. Epub 2021 Mar 27.	Journal Article
94	Kitagawa T, Nakase J, Takata Y, et al.	保健学科	Flexibility of infrapatellar fat pad affecting anterior knee pain 6 months after anterior cruciate ligament reconstruction with hamstring autograft	Sci Rep. 2020 Dec 7;10(1):21347. doi: 10.1038/s41598-020-78406-y.	Journal Article
95	Oyake K, Baba Y, Suda Y, et al.	保健学科	Cardiorespiratory mechanisms underlying the impaired oxygen uptake kinetics at exercise onset after stroke	Ann Phys Rehabil Med. 2021 Mar;64(2):101465. doi: 10.1016/j.rehab.2020.101465. Epub 2021 Feb 8.	Journal Article

96	Hori A, Ishida F, Nakazawa H, et al.	保健学科	Serum sphingomyelin species profile is altered in hematologic malignancies	Clin Chim Acta. 2021 Mar;514:29-33. doi: 10.1016/j.cca.2020.11.024. Epub 2020 Dec 3.	Journal Article
97	Shigemura T, Maruyama Y, Shigeto S, et al.	小児科	Orbital Epstein-Barr virus-related post-transplant lymphoproliferative disorder in a 13-year-old girl with cord blood transplantation	Transpl Infect Dis. 2021 Jun;23(3):e13536. doi: 10.1111/tid.13536. Epub 2020 Dec 18.	Journal Article
98	Hardian RF, Goto T, Kanaya K, et al.	脳神経外科	Intraoperative Lumbar Muscle Motor Evoked Potential Monitoring With Transcortical Stimulation	World Neurosurg. 2021 Feb;146:e1126-e1133. doi: 10.1016/j.wneu.2020.11.115. Epub 2020 Nov 28.	Journal Article
99	Yasukawa K, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Clinical characteristics and management of acute cholecystitis after cardiovascular surgery	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Feb;28(2):211-220. doi: 10.1002/jhbp.872. Epub 2020 Dec 16.	Journal Article
100	Aomura D, Tachibana N, Komatsu M, et al.	腎臓内科	Clinical Results of Tenofovir Disoproxil Fumarate in a Hemodialysis Patient with Chronic Hepatitis B	Case Rep Nephrol Dial. 2020 Oct 15;10(3):130-138. doi: 10.1159/000508806. eCollection 2020 Sep-Dec.	Case Reports
101	Morokawa H, Yagyu S, Hasegawa A, et al.	小児科	Autologous non-human primate model for safety assessment of piggyBac transposon-mediated chimeric antigen receptor T cells on granulocyte-macrophage colony-stimulating factor receptor	Clin Transl Immunology. 2020 Nov 22;9(11):e1207. doi: 10.1002/cti2.1207. eCollection 2020.	Journal Article

102	Hayashi W, Iimura M, Horiuchi K, et al.	保健学科	Occurrence of bla(NDM-1) in a Clinical Isolate of Acinetobacter lwoffii in Japan: Comparison of bla(NDM-1)-Harboring Plasmids between A. lwoffii and A. pittii Originated from a Hospital Sink	Jpn J Infect Dis. 2021 May 24;74(3):252-254. doi: 10.7883/yoken.JJID.2020.806. Epub 2020 Nov 30.	Journal Article
103	Suzuki H, Joshita S, Nagaya T, et al.	消化器内科	Relationship of early acute complications and insertion site in push method percutaneous endoscopic gastrostomy	Sci Rep. 2020 Nov 25;10(1):20551. doi: 10.1038/s41598-020-77553-6.	Journal Article
104	Kubota Y, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	T-Configuration Stent Placement for Carotid Bifurcation Stenosis Co-Existing with Ipsilateral Intracranial Stenosis: A Case Report and Literature Review	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021 Feb;30(2):105472. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2020.105472. Epub 2020 Nov 21.	Case Reports
105	Ikeda J, Shimajima Y, Yoshinaga T, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Alteration of BAFF and APRIL in the cerebrospinal fluid based on the therapeutic response in primary central nervous system B-cell lymphoma	J Clin Neurosci. 2020 Nov;81:72-75. doi: 10.1016/j.jocn.2020.09.005. Epub 2020 Sep 28.	Case Reports
106	Eguchi T, Hamanaka K, Shimizu K.,	呼吸器外科	Thymic Malignancy Still Needs Aggressive Surgery: Safety and Oncologic Feasibility of Superior Vena Cava Resection	Ann Thorac Surg. 2021 Jul;112(1):277-278. doi: 10.1016/j.athoracsur.2020.08.087. Epub 2020 Nov 16.	Journal Article
107	Hanaoka Y, Koyama JI, Fujii Y, et al.	脳神経外科	Bilateral Transradial Approach for Coil Embolization of Basilar Artery Aneurysms Associated with an Unfavorable Vertebral Artery Anatomy : Initial Experience with Role-sharing Technique	Clin Neuroradiol. 2020 Nov 17. doi: 10.1007/s00062-020-00971-6. Online ahead of print.	Journal Article

108	Muraki T, Pehlivanoglu B, Memis B, et al.	消化器内科	Pancreatobiliary Maljunction-Associated Gallbladder Cancer is as Common in the West, Shows Distinct Clinicopathologic Characteristics and Offers an Invaluable Model for Anatomy-Induced Reflux-Associated Physio-Chemical Carcinogenesis	Ann Surg. 2020 Nov 12. doi: 10.1097/SLA.0000000000004482. Online ahead of print.	Journal Article
109	Kishida D, Nakamura A, Yazaki M, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Triggering factors for febrile attacks in Japanese patients with familial Mediterranean fever	Clin Exp Rheumatol. 2020 Sep-Oct;38 Suppl 127(5):76-79. Epub 2020 Nov 4.	Journal Article
110	Otagiri H, Yamada S, Hashidume M, et al.	特殊歯科・口腔外科	A clinical investigation of the association between perioperative oral management and prognostic nutritional index in patients with digestive and urinary cancers	Curr Oncol. 2020 Oct;27(5):257-262. doi: 10.3747/co.27.5963. Epub 2020 Oct 1.	Journal Article
111	Fujimura S, Higuchi Y, Usami Y, et al.	保健学科	Changes in serum citrullinated fibrinogen concentration associated with the phase of bacteremia patients	Clin Chim Acta. 2021 Jan;512:127-134. doi: 10.1016/j.cca.2020.10.038. Epub 2020 Nov 4.	Journal Article
112	Nakano M, Nakamura Y, Suzuki T, et al.	整形外科	Implications of historical height loss for prevalent vertebral fracture, spinal osteoarthritis, and gastroesophageal reflux disease	Sci Rep. 2020 Nov 4;10(1):19036. doi: 10.1038/s41598-020-76074-6.	Journal Article
113	Tabata H, Okada A, Kobayashi H, et al.	循環器内科	"Alpha"-Looped Broken Pacemaker Lead Inside the Heart	Circ J. 2020 Dec 25;85(1):77. doi: 10.1253/circj.CJ-20-0680. Epub 2020 Oct 30.	Journal Article

114	Kato H, Fukushima T, Kobayashi T, et al.	包括的がん治療学	[Mediastinal Growing Teratoma Syndrome during Chemotherapy, Presenting as a Huge and Inoperable Tumor]	Gan To Kagaku Ryoho. 2020 Oct;47(10):1497-1500.	Case Reports
115	Yamazaki H, Fujimoto K.	保健学科	A new noninvasive method for measurement of dynamic lung compliance from fluctuations on photoplethysmography in respiration	J Appl Physiol (1985). 2021 Jan 1;130(1):215-225. doi: 10.1152/japplphysiol.00295.2020. Epub 2020 Oct 29.	Journal Article
116	Abe R, Katoh N, Takahashi Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Distribution of amyloidosis subtypes based on tissue biopsy site – Consecutive analysis of 729 patients at a single amyloidosis center in Japan	Pathol Int. 2021 Jan;71(1):70-79. doi: 10.1111/pin.13041. Epub 2020 Oct 28.	Journal Article
117	Miyazaki A, Uehara T, Usami Y, et al.	臨床検査部	Highly oxidized low-density lipoprotein does not facilitate platelet aggregation	J Int Med Res. 2020 Oct;48(10):300060520958960. doi: 10.1177/0300060520958960.	Journal Article
118	Okano T, Motoki H, Minamisawa M, et al.	循環器内科	Cardio-renal and cardio-hepatic interactions predict cardiovascular events in elderly patients with heart failure	PLoS One. 2020 Oct 23;15(10):e0241003. doi: 10.1371/journal.pone.0241003. eCollection 2020.	Journal Article
119	Kanazawa H, Sasaki N, Kobayashi T, et al.	内科学第二	Direct Intraesophageal Growth from Metastatic Mediastinal Lymphadenopathy in Thymic Carcinoma	Intern Med. 2021 Mar 15;60(6):923-926. doi: 10.2169/internalmedicine.5501-20. Epub 2020 Oct 21.	Case Reports

120	Maezumi Y, Kamimura M, Nakamura Y, et al.	整形外科	Remarkable loss of bone mineral density in 6 months after denosumab discontinuation: a case report	Mod Rheumatol Case Rep. 2020 Jul;4(2):218–221. doi: 10.1080/24725625.2019.1 702494. Epub 2020 Jan 6.	Journal Article
121	Hardian RF, Hanaoka Y, Funato K, et al.	脳神経外科	Assessment of collateral venous flow using temporary clip placement at ICG videoangiography	Acta Neurochir (Wien). 2020 Oct 21. doi: 10.1007/s00701-020- 04617-x. Online ahead of print.	Journal Article
122	Shimizu A, Soejima Y.	消化器・移植・小児外科学分野	ASO Author Reflections: Is Major Hepatopancreatodu denectomy Beneficial for Patients with Advanced and Widespread Extrahepatic Cholangiocarcinoma?	Ann Surg Oncol. 2021 Apr;28(4):2026–2027. doi: 10.1245/s10434-020- 09261-4. Epub 2020 Oct 21.	Journal Article
123	Matsuoka S, Eguchi T, Takeda T, et al.	呼吸器外科	Three-dimensional computed tomography and indocyanine green- guided technique for pulmonary sequestration surgery	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Mar;69(3):621- 624. doi: 10.1007/s11748-020- 01511-2. Epub 2020 Oct 19.	Journal Article
124	Uehara M, Kuraishi S, Ikegami S, et al.	整形外科	Scoliosis in Goldenhar syndrome with curve reversal during brace treatment: a case report	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Oct 16;21(1):685. doi: 10.1186/s12891-020- 03719-y.	Case Reports
125	Minagawa A, Koga H, Sano T, et al.	皮膚科	deep learning diagnostic performance of Japanese dermatologists for skin tumors differs by patient origin: A deep learning convolutional neural network closes the gap	J Dermatol. 2021 Feb;48(2):232–236. doi: 10.1111/1346- 8138.15640. Epub 2020 Oct 15.	Journal Article

126	Shimizu A, Motoyama H, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Oncological Benefit of Hepatopancreatoduodenectomy for Advanced Extrahepatic Cholangiocarcinoma with Horizontal Tumor Spread: Shinshu University Experience	Ann Surg Oncol. 2021 Apr;28(4):2012-2025. doi: 10.1245/s10434-020- 09209-8. Epub 2020 Oct 12.	Journal Article
127	Arai S, Kamiyo T, Hayashi F, et al.	保健学科	Screening method for congenital dysfibrinogenemia using clot waveform analysis with the Clauss method	Int J Lab Hematol. 2021 Apr;43(2):281-289. doi: 10.1111/ijlh.13358. Epub 2020 Oct 8.	Journal Article
128	Nishina S, Sakai H, Kawakami T, et al.	血液内科	Isolated splenic Mycobacterium tuberculosis complex infection in an immunocompetent individual with FDG- PET positive mass	J Infect Chemother. 2021 Feb;27(2):354-358. doi: 10.1016/j.jiac.2020.09.01 8. Epub 2020 Oct 3.	Case Reports
129	Takamatsu R, Shimajima Y, Kishida D, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Development of Arthritis as the Initial Involvement in Adult-Onset Cutaneous Polyarteritis Nodosa: Two Cases and Literature Review	Case Rep Rheumatol. 2020 Sep 16;2020:8897358. doi: 10.1155/2020/8897358. eCollection 2020.	Case Reports
130	Matsuoka D, Hirabayashi K, Murase T, et al.	小児科	Assessment of kidney function using inulin- based and estimated glomerular filtration rates before and after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in pediatric patients	Pediatr Blood Cancer. 2020 Dec;67(12):e28733. doi: 10.1002/pbc.28733. Epub 2020 Oct 1.	Journal Article
131	Iwaya M, Riddell R, Asano K, et al.	臨床検査部	Alpha-Fetoprotein- Producing Early Gastric Cancer with Intramucosal Hepatoid and Fetal Enteric Differentiation	Case Rep Gastroenterol. 2020 Aug 26;14(2):426- 435. doi: 10.1159/000508413. eCollection 2020 May- Aug.	Case Reports

132	Yoshinaga T, Katoh N, Yazaki M, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Giant Hepatomegaly with Spleno-testicular Enlargement in a Patient with Apolipoprotein A-I Amyloidosis: An Uncommon Type of Amyloidosis in Japan	Intern Med. 2021 Feb 15;60(4):575-581. doi: 10.2169/internalmedicine.5126-20. Epub 2020 Sep 30.	Case Reports
133	Yasukawa K, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Impact of Remnant Carcinoma in Situ at the Ductal Stump on Long-Term Outcomes in Patients with Distal Cholangiocarcinoma	World J Surg. 2021 Jan;45(1):291-301. doi: 10.1007/s00268-020-05799-2. Epub 2020 Sep 28.	Journal Article
134	Nishizawa H, Sato Y, Ishikawa M, et al.	保健学科	Marked motor function improvement in a 32-year-old woman with childhood-onset hypophosphatasia by asfotase alfa therapy: Evaluation based on standardized testing batteries used in Duchenne muscular dystrophy clinical trials	Mol Genet Metab Rep. 2020 Sep 9;25:100643. doi: 10.1016/j.ymgmr.2020.100643. eCollection 2020 Dec.	Journal Article
135	Sato K, Uehara T, Iwaya M, et al.	消化器内科	Retraction notice to: "Correlation of clinicopathological features and LGR5 expression in colon adenocarcinoma" [Annals of Diagnostic Pathology 40C (2020) 161-165]	Ann Diagn Pathol. 2020 Oct;48:151609. doi: 10.1016/j.anndiagpath.2020.151609.	Journal Article
136	Kaneko T, Fujinaga Y, Ichinohe F, et al.	放射線科	Spontaneous Regression of Radiologically Diagnosed Epidermoid Cyst Originating from the Cerebellopontine Angle	World Neurosurg. 2020 Dec;144:238-243. doi: 10.1016/j.wneu.2020.09.008. Epub 2020 Sep 22.	Case Reports
137	Yasukawa K, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Preoperative C-reactive protein-to-albumin ratio predicts long-term outcomes in extrahepatic cholangiocarcinoma patients	J Surg Oncol. 2020 Dec;122(7):1516-1517. doi: 10.1002/jso.26175. Epub 2020 Sep 22.	Letter

138	Aoki K, Ogihara N, Tanaka M, et al.	保健学科	Carbon nanotube- based biomaterials for orthopaedic applications	J Mater Chem B. 2020 Oct 21;8(40):9227-9238. doi: 10.1039/d0tb01440k.	Journal Article
139	Yasukawa K, Shimizu A, Yokoyama T, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Preventive Effect of High-Dose Digestive Enzyme Management on Development of Nonalcoholic Fatty Liver Disease after Pancreaticoduodenec tomy: A Randomized Controlled Clinical Trial	J Am Coll Surg. 2020 Dec;231(6):658-669. doi: 10.1016/j.jamcollsurg.202 0.08.761. Epub 2020 Sep 11.	Journal Article
140	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Differences in Bone Mineral Density and Bone Turnover Markers Between Subjects With and Without Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Dec 15;45(24):E1677-E1681. doi: 10.1097/BRS.00000000000 003689.	Journal Article
141	Fujisawa Y, Matsuda K, Uehara T.,	保健学科	Osteopontin enhances the migration of lung fibroblasts via upregulation of interleukin-6 through the extracellular signal-regulated kinase (ERK) pathway	Biol Chem. 2020 Aug 27;401(9):1071-1080. doi: 10.1515/hsz-2020-0125.	Journal Article
142	Sato Y, Ogawa E, Okuyama R.,	皮膚科	Role of Innate Immune Cells in Psoriasis	Int J Mol Sci. 2020 Sep 9;21(18):6604. doi: 10.3390/ijms21186604.	Journal Article
143	Ebisawa S, Kohsaka S, Muramatsu T, et al.	循環器内科	Derivation and validation of the J- CTO extension score for pre-procedural prediction of major adverse cardiac and cerebrovascular events in patients with chronic total occlusions	PLoS One. 2020 Sep 11;15(9):e0238640. doi: 10.1371/journal.pone.023 8640. eCollection 2020.	Journal Article

144	Sagari A, Tabira T, Maruta M, et al.	保健学科	Causes of changes in basic activities of daily living in older adults with long-term care needs	Australas J Ageing. 2021 Mar;40(1):e54-e61. doi: 10.1111/ajag.12848. Epub 2020 Sep 9.	Journal Article
145	Koyama M, Kitazawa M, Nakamura S, et al.	消化器外科	Low-dose trametinib and Bcl-xL antagonist have a specific antitumor effect in KRAS-mutated colorectal cancer cells	Int J Oncol. 2020 Nov;57(5):1179-1191. doi: 10.3892/ijo.2020.5117. Epub 2020 Sep 2.	Journal Article
146	Oba H, Ikegami S, Kuraishi S, et al.	整形外科	Perforation Rate of Pedicule Screws Using Hybrid Operating Room Combined With Intraoperative Computed Tomography Navigation for Adolescent Idiopathic Scoliosis: Impact of Distance From the Reference Frame and Other Risk Factors	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Oct 15;45(20):E1357-E1364. doi: 10.1097/BRS.0000000000 003673.	Journal Article
147	Minagawa A, Mikoshiya Y, Koga H, et al.	皮膚科	Dermoscopy image- based self-learning on computer improves diagnostic performance of medical students compared with classroom-style lecture in ultra-short period	J Dermatol. 2020 Dec;47(12):1432-1435. doi: 10.1111/1346- 8138.15592. Epub 2020 Sep 4.	Journal Article
148	Kobara H, Miyamoto T, Ando H, et al.	産科婦人科	Limited frequency of malignant change in lobular endocervical glandular hyperplasia	Int J Gynecol Cancer. 2020 Oct;30(10):1480- 1487. doi: 10.1136/ijgc- 2020-001612. Epub 2020 Sep 3.	Journal Article
149	Hondo N, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Laparoscopic abdominosacral resection for rectal and anal canal carcinoma with pagetoid spread	Asian J Endosc Surg. 2021 Jul;14(3):624-627. doi: 10.1111/ases.12856. Epub 2020 Sep 1.	Journal Article

150	Yoda M, Kaido T, Taira C, et al.	臨床検査部	Congenital fibrinogen disorder with a compound heterozygote possessing two novel FGB mutations, one qualitative and the other quantitative	Thromb Res. 2020 Dec;196:152-158. doi: 10.1016/j.thromres.2020.08.031. Epub 2020 Aug 20.	Case Reports
151	Tensho K, Iwaasa T, Koyama S, et al.	整形外科	Potential risk of medial cortex perforation due to peg position of morphometric tibial component in unicompartmental knee arthroplasty: a computer simulation study	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2020 Aug 31. doi: 10.1007/s00167-020-06242-8. Online ahead of print.	Journal Article
152	Sakai Y, Nakamura K, Midorikawa H, et al.	皮膚科	Hemophagocytic syndrome associated with pembrolizumab therapy successfully controlled by cyclosporin	J Dermatol. 2020 Dec;47(12):e422-e423. doi: 10.1111/1346-8138.15566. Epub 2020 Aug 29.	Letter
153	Abe D, Ogiwara T, Nakamura T, et al.	脳神経外科	Treatment Strategy for Giant Invasive Macroprolactinoma with Spontaneous Cerebrospinal Fluid Rhinorrhea: A Case Report and Literature Review	World Neurosurg. 2020 Dec;144:19-23. doi: 10.1016/j.wneu.2020.08.129. Epub 2020 Aug 24.	Case Reports
154	Kato T, Nagae A, Sakai T, et al.	循環器内科	Successful bailout of stent graft stuck in stent occlusion lesion	Cardiovasc Interv Ther. 2020 Aug 25. doi: 10.1007/s12928-020-00695-x. Online ahead of print.	Journal Article
155	Matsuoka D, Noda S, Kamiya M, et al.	小児科	Immune-complex glomerulonephritis with a membranoproliferative pattern in Frasier syndrome: a case report and review of the literature	BMC Nephrol. 2020 Aug 24;21(1):362. doi: 10.1186/s12882-020-02007-0.	Journal Article

156	Kamijo H, Mochizuki K, Nakamura Y, et al.	救急科	Nafamostat Mesylate Improved Survival Outcomes of Sepsis Patients Who Underwent Blood Purification: A Nationwide Registry Study in Japan	J Clin Med. 2020 Aug 13;9(8):2629. doi: 10.3390/jcm9082629.	Journal Article
157	Uehara M, Oba H, Hatakenaka T, et al.	整形外科	Posterior Spinal Fusion for Severe Spinal Deformities in Musculocontractural Ehlers-Danlos Syndrome: Detailed Observation of a Novel Case and Review of 2 Reported Cases	World Neurosurg. 2020 Nov;143:454-461. doi: 10.1016/j.wneu.2020.08.0 85. Epub 2020 Aug 19.	Case Reports
158	Oba T, Chino T, Soma A, et al.	乳腺・内分泌外科	Comparative efficacy and safety of tyrosine kinase inhibitors for thyroid cancer: a systematic review and meta-analysis	Endocr J. 2020 Dec 28;67(12):1215-1226. doi: 10.1507/endocrj.EJ20- 0171. Epub 2020 Aug 18.	Journal Article
159	Kuraishi Y, Uehara T, Watanabe T, et al.	消化器内科	Corticosteroids prevent the progression of autoimmune pancreatitis to chronic pancreatitis	Pancreatology. 2020 Sep;20(6):1062-1068. doi: 10.1016/j.pan.2020.07.40 8. Epub 2020 Aug 1.	Journal Article
160	Nakano M, Nakamura Y, Suzuki T, et al.	整形外科	Spinal Osteoarthritis Is Associated With Stature Loss Independently of Incident Vertebral Fracture in Postmenopausal Women	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Nov 1;45(21):E1400- E1404. doi: 10.1097/BRS.00000000000 003625.	Journal Article
161	Joshita S, Sugiura A, Umemura T, et al.	消化器内科	Clinical impact of normal alanine aminotransferase on direct-acting antiviral outcome in patients with chronic hepatitis C virus infection	JGH Open. 2019 Dec 23;4(4):574-581. doi: 10.1002/jgh3.12296. eCollection 2020 Aug.	Journal Article

162	Nishimaki F, Gibo T, Tsukada K, et al.	特殊歯科・口腔外科	A Rare Distant Metastasis of Papillary Cystadenocarcinoma Arising from Maxillary Gingiva	Case Rep Oncol. 2020 Jun 16;13(2):683–688. doi: 10.1159/000507956. eCollection 2020 May– Aug.	Case Reports
163	Kashiwagi D, Ebisawa S, Yui H, et al.	循環器内科	Prognostic usefulness of residual SYNTAX score combined with clinical factors for patients with acute coronary syndrome who underwent percutaneous coronary intervention from the SHINANO Registry	Heart Vessels. 2021 Feb;36(2):170–179. doi: 10.1007/s00380-020- 01680-3. Epub 2020 Aug 6.	Journal Article
164	Oyake K, Suzuki M, Otaka Y, et al.	保健学科	Motivational Strategies for Stroke Rehabilitation: A Delphi Study	Arch Phys Med Rehabil. 2020 Nov;101(11):1929– 1936. doi: 10.1016/j.apmr.2020.06.0 07. Epub 2020 Aug 1.	Journal Article
165	Kinjo T, Kitaguchi Y, Droma Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	The Gly82Ser mutation in AGER contributes to pathogenesis of pulmonary fibrosis in combined pulmonary fibrosis and emphysema (CPFE) in Japanese patients	Sci Rep. 2020 Jul 30;10(1):12811. doi: 10.1038/s41598-020- 69184-8.	Journal Article
166	Yamamoto Y, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Association of feces sign with prognosis of non-emergency adhesive small bowel obstruction	Asian J Surg. 2021 Jan;44(1):292–297. doi: 10.1016/j.asjsur.2020.07. 012. Epub 2020 Jul 28.	Journal Article
167	Ozawa S, Yamaori S, Aikawa K, et al.	薬剤部	Expression profile of cytochrome P450s and effects of polycyclic aromatic hydrocarbons and antiepileptic drugs on CYP1 expression in MOG-G-CCM cells	Life Sci. 2020 Oct 1;258:118140. doi: 10.1016/j.lfs.2020.118140 . Epub 2020 Jul 27.	Journal Article

168	Wakabayashi R, Ishida T, Yamada T, et al.	麻酔科蘇生科	Effect of an aerosol box on tracheal intubation difficulty	J Anesth. 2020 Oct;34(5):790-793. doi: 10.1007/s00540-020-02835-2. Epub 2020 Jul 29.	Journal Article
169	Hashimoto S, Ikegami S, Nishimura H, et al.	整形外科	Prevalence and Risk Factors of Carpal Tunnel Syndrome in Japanese Aged 50 to 89 Years	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2020 Sep;25(3):320-327. doi: 10.1142/S2424835520500356.	Journal Article
170	Takasone K, Katoh N, Takahashi Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Non-invasive detection and differentiation of cardiac amyloidosis using (99m)Tc-pyrophosphate scintigraphy and (11)C-Pittsburgh compound B PET imaging	Amyloid. 2020 Dec;27(4):266-274. doi: 10.1080/13506129.2020.1798223. Epub 2020 Jul 28.	Journal Article
171	Sano T, Minagawa A, Suzuki R, et al.	皮膚科	Dermoscopy with near-ultraviolet light highlights the demarcation of melanin distribution in cutaneous melanoma	J Am Acad Dermatol. 2021 Jan;84(1):e23-e24. doi: 10.1016/j.jaad.2020.07.080. Epub 2020 Jul 23.	Case Reports
172	Yamamoto Y, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Impact of barometric pressure on adhesive small bowel obstruction: a retrospective study	BMC Surg. 2020 Jul 25;20(1):168. doi: 10.1186/s12893-020-00829-1.	Journal Article
173	Ushiyama S, Shimojima Y, Ueno KI, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Clinical characteristics of patients with myalgia as the initial manifestation of small and medium-sized vasculitis: a retrospective study	Rheumatol Int. 2020 Oct;40(10):1667-1674. doi: 10.1007/s00296-020-04652-y. Epub 2020 Jul 24.	Journal Article

174	Suzuki H, Joshita S, Hirayama A, et al.	消化器内科	Polymorphism at rs9264942 is associated with HLA-C expression and inflammatory bowel disease in the Japanese	Sci Rep. 2020 Jul 24;10(1):12424. doi: 10.1038/s41598-020-69370-8.	Journal Article
175	Yasukawa S, Uehara M, Suzuki T, et al.	整形外科	The first experience of denosumab therapy on patients with Ehlers-Danlos syndrome and osteoporosis: detailed observation of two patients	Mod Rheumatol Case Rep. 2021 Mar 15:1-7. doi: 10.1080/24725625.2020.1799493. Online ahead of print.	Journal Article
176	Kako S, Iwaya Y, Nagaya T, et al.	消化器内科	Successful treatment of gallstone ileus with double-balloon enteroscopy-assisted electrohydraulic lithotripsy	Dig Liver Dis. 2021 Apr;53(4):498-499. doi: 10.1016/j.dld.2020.07.002. Epub 2020 Jul 17.	Journal Article
177	Uehara M, Takahashi J, Shimizu M, et al.	整形外科	Does Main Curve Flexibility Affect Screw Insertion Accuracy Using a CT-based Navigation System in Adolescent Idiopathic Scoliosis Surgery?	Clin Spine Surg. 2020 Dec;33(10):E598-E600. doi: 10.1097/BSD.0000000000001049.	Journal Article
178	Matsumoto A, Nishiguchi S, Enomoto H, et al.	内科学第二	Pilot study of tenofovir disoproxil fumarate and pegylated interferon-alpha 2a add-on therapy in Japanese patients with chronic hepatitis B	J Gastroenterol. 2020 Oct;55(10):977-989. doi: 10.1007/s00535-020-01707-6. Epub 2020 Jul 14.	Journal Article
179	Iimura M, Hayashi W, Arai E, et al.	保健学科	Identification of a multiresistant mosaic plasmid carrying a new segment of IS1216E-flanked optrA with integrated Tn551-ermB element in linezolid-resistant Enterococcus faecalis human isolate	J Glob Antimicrob Resist. 2020 Sep;22:697-699. doi: 10.1016/j.jgar.2020.06.030. Epub 2020 Jul 9.	Letter

180	Masuda Y, Yoshizawa K, Ohno Y, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Small-for-size syndrome in liver transplantation: Definition, pathophysiology and management	Hepatobiliary Pancreat Dis Int. 2020 Aug;19(4):334- 341. doi: 10.1016/j.hbpd.2020.06.0 15. Epub 2020 Jun 30.	Journal Article
181	Hoshino Y, Yamazaki M, Mochizuki Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	[A case suspected of dystonia with marked cerebellar atrophy with torsion dystonia of the neck and cerebellar ataxia that developed during pharmacologic schizophrenia treatment]	Rinsho Shinkeigaku. 2020 Aug 7;60(8):520-526. doi: 10.5692/clinicalneuro.60. cn-001395. Epub 2020 Jul 7.	Case Reports
182	Tsunekawa K, Nagai F, Kato T, et al.	形成外科	Hallucal thenar index: A new index to detect peripheral arterial disease using laser speckle flowgraphy	Vascular. 2021 Feb;29(1):100-107. doi: 10.1177/17085381209389 35. Epub 2020 Jul 8.	Journal Article
183	Yasukawa K, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Preoperative C- reactive protein-to- albumin ratio predicts long-term outcomes in extrahepatic cholangiocarcinoma patients	J Surg Oncol. 2020 Nov;122(6):1094-1105. doi: 10.1002/jso.26109. Epub 2020 Jul 7.	Journal Article
184	Yanagisawa R, Kato M, Sakaguchi K, et al.	輸血部	A case of pure erythroid leukemia with MYB-GATA1 fusion that developed tumor lysis syndrome with dexamethasone	Pediatr Blood Cancer. 2020 Sep;67(9):e28285. doi: 10.1002/pbc.28285. Epub 2020 Jul 7.	Case Reports
185	Kakihara S, Hirano T, Imai A, et al.	眼科	Baerveldt glaucoma drainage implant surgery for secondary glaucoma in patients with transthyretin- related familial amyloid polyneuropathy	Jpn J Ophthalmol. 2020 Sep;64(5):533-538. doi: 10.1007/s10384-020- 00753-0. Epub 2020 Jul 6.	Journal Article

186	Hanaoka Y, Koyama JI, Ogiwara T, et al.	脳神経外科	Feasibility and Safety of Radial-First Approach with a Radial-Specific Neurointerventional Guiding Sheath for Intracranial Aneurysm Coiling in the Anterior Circulation	World Neurosurg. 2020 Oct;142:e297-e306. doi: 10.1016/j.wneu.2020.06.2 05. Epub 2020 Jul 1.	Journal Article
187	Shimajima Y, Kishida D, Nomura S, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Cerebrospinal fluid levels of BAFF and APRIL as direct indicators of disease activity in anti- neutrophil cytoplasmic antibody-related hypertrophic pachymeningitis	Clin Rheumatol. 2020 Oct;39(10):3145-3148. doi: 10.1007/s10067-020- 05270-6. Epub 2020 Jul 4.	Case Reports
188	Tokida R, Ikegami S, Takahashi J, et al.	リハビリテーション部	Association between musculoskeletal function deterioration and locomotive syndrome in the general elderly population: a Japanese cohort survey randomly sampled from a basic resident registry	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Jul 3;21(1):431. doi: 10.1186/s12891-020- 03469-x.	Journal Article
189	Noguchi T, Fukushima T, Hara H, et al.	包括的がん治療学	Giant paratesticular liposarcoma with lung metastases: a case report and review of the literature	J Med Case Rep. 2020 Jul 2;14(1):86. doi: 10.1186/s13256-020- 02420-x.	Case Reports
190	Maruyama S, Ebisawa S, Miura T, et al.	循環器内科	Impact of nutritional index on long-term outcomes of elderly patients with coronary artery disease: sub-analysis of the SHINANO 5 year registry	Heart Vessels. 2021 Jan;36(1):7-13. doi: 10.1007/s00380-020- 01659-0. Epub 2020 Jun 30.	Journal Article
191	Yasuo M, Kitaguchi Y, Tokoro Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Differences Between Central Airway Obstruction and Chronic Obstructive Pulmonary Disease Detected with the Forced Oscillation Technique	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2020 Jun 19;15:1425-1434. doi: 10.2147/COPD.S246126. eCollection 2020.	Journal Article

192	Suzuki Y, Goto T, Fujii Y, et al.	脳神経外科	Transient Retinal Ischemia During Carotid Endarterectomy Estimated by Intraoperative Visual Evoked Potential Monitoring: Technical Note	World Neurosurg. 2020 Oct;142:68-74. doi: 10.1016/j.wneu.2020.06.1 30. Epub 2020 Jun 25.	Case Reports
193	Hayashi H, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Left-sided portal hypertension caused by idiopathic splenic vein stenosis improved by splenectomy: a case report	Surg Case Rep. 2020 Jun 26;6(1):148. doi: 10.1186/s40792-020- 00912-y.	Journal Article
194	Yui H, Ebisawa S, Miura T, et al.	循環器内科	Impact of changes in body mass index after percutaneous coronary intervention on long-term outcomes in patients with coronary artery disease	Heart Vessels. 2020 Dec;35(12):1657-1663. doi: 10.1007/s00380-020- 01648-3. Epub 2020 Jun 25.	Journal Article
195	Oyake K, Suzuki M, Otaka Y, et al.	保健学科	Motivational Strategies for Stroke Rehabilitation: A Descriptive Cross- Sectional Study	Front Neurol. 2020 Jun 10;11:553. doi: 10.3389/fneur.2020.00553 . eCollection 2020.	Journal Article
196	Nitta K, Imamura H, Mochizuki K, et al.	高度救命救急センター	Smoke inhalation injury: bronchoscopy findings	Can J Anaesth. 2020 Oct;67(10):1431-1432. doi: 10.1007/s12630-020- 01749-7. Epub 2020 Jun 24.	Journal Article
197	Hanaoka Y, Koyama JI, Yamazaki D, et al.	脳神経外科	<Editors' Choice> Initial experience with in vivo "endovascular shaping" technique that utilizes the vascular configuration for small cerebral aneurysm coiling	Nagoya J Med Sci. 2020 May;82(2):355-362. doi: 10.18999/nagjms.82.2.355 .	Journal Article

198	Takasone K, Morizumi T, Nakamura K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	A Late-onset and Relatively Rapidly Progressive Case of Pure Spinal Form Cerebrotendinous Xanthomatosis with a Novel Mutation in the CYP27A1 Gene	Intern Med. 2020 Oct 15;59(20):2587–2591. doi: 10.2169/internalmedicine.5037–20. Epub 2020 Jun 23.	Case Reports
199	Morizumi T, Takasone K, Katoh N, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Gray Matter Encephalomyelitis with Anti-Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibody	Intern Med. 2020 Oct 1;59(19):2435–2436. doi: 10.2169/internalmedicine.5011–20. Epub 2020 Jun 23.	Journal Article
200	Motoki H, Masuda I, Yasuno S, et al.	循環器内科	Rationale and design of the EMPYREAN study	ESC Heart Fail. 2020 Oct;7(5):3134–3141. doi: 10.1002/ehf2.12825. Epub 2020 Jun 23.	Journal Article
201	Kaido T, Yoda M, Kamijo T, et al.	臨床検査部	Comparison of molecular structure and fibrin polymerization between two B β -chain N-terminal region fibrinogen variants, B β p.G45C and B β p.R74C	Int J Hematol. 2020 Sep;112(3):331–340. doi: 10.1007/s12185-020-02919-5. Epub 2020 Jun 19.	Journal Article
202	Tanaka R, Shimojima Y, Ueno KI, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Moyamoya syndrome related to systemic lupus erythematosus developing during pregnancy: a case-based review	Clin Rheumatol. 2020 Dec;39(12):3861–3867. doi: 10.1007/s10067-020-05246-6. Epub 2020 Jun 19.	Case Reports
203	Tanaka M, Yanagisawa R, Yamanaka M, et al.	小児科	Transfusion outcome for volume- and plasma-reduced platelet concentrates for pediatric patients	Transfus Apher Sci. 2020 Aug;59(4):102776. doi: 10.1016/j.transci.2020.102776. Epub 2020 May 18.	Journal Article

204	Harada M, Fujii K, Yamada Y, et al.	腎臓内科	Relationship between serum uric acid level and vascular injury markers in hemodialysis patients	Int Urol Nephrol. 2020 Aug;52(8):1581-1591. doi: 10.1007/s11255-020- 02531-w. Epub 2020 Jun 17.	Journal Article
205	Suzuki R, Kiniwa Y, Shirai T, et al.	皮膚科	Successful treatment of cutaneous infection due to Purpureocillium lilacinum using voriconazole	J Dermatol. 2020 Sep;47(9):e342-e343. doi: 10.1111/1346- 8138.15468. Epub 2020 Jun 17.	Letter
206	Tsukada K, Usami SI.	耳鼻咽喉科	Detailed MR imaging assessment of endolymphatic hydrops in patients with SLC26A4 mutations	Auris Nasus Larynx. 2020 Dec;47(6):958-964. doi: 10.1016/j.anl.2020.05.018 . Epub 2020 Jun 12.	Journal Article
207	Ashihara N, Watanabe T, Kako S, et al.	消化器内科	Correlation of Pancreatic T1 Values Using Modified Look- Locker Inversion Recovery Sequence (MOLLI) with Pancreatic Exocrine and Endocrine Function	J Clin Med. 2020 Jun 10;9(6):1805. doi: 10.3390/jcm9061805.	Journal Article
208	Wakabayashi R, Tanaka S, Tsuchiyama K, et al.	麻酔科蘇生科	Anesthetic management of a patient with musculocontractural Ehlers-Danlos syndrome undergoing scoliosis surgery	JA Clin Rep. 2020 Jun 11;6(1):46. doi: 10.1186/s40981-020- 00352-5.	Journal Article
209	Gibo T, Yamada SI, Kawamoto M, et al.	特殊歯科・口腔外科	Immunohistochemical Investigation of Predictive Biomarkers for Mandibular Bone Invasion in Oral Squamous Cell Carcinoma	Pathol Oncol Res. 2020 Oct;26(4):2381-2389. doi: 10.1007/s12253-020- 00826-y. Epub 2020 Jun 10.	Journal Article

210	Ikuyama Y, Wada Y, Tateishi K, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Successful recovery from critical COVID- 19 pneumonia with extracorporeal membrane oxygenation: A case report	Respir Med Case Rep. 2020 May 31;30:101113. doi: 10.1016/j.rmcr.2020.1011 13. eCollection 2020.	Case Reports
211	Kawachi S, Fujimoto K.	保健学科	Metronome-Paced Incremental Hyperventilation May Predict Exercise Tolerance and Dyspnea as a Surrogate for Dynamic Lung Hyperinflation During Exercise	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2020 May 15;15:1061-1069. doi: 10.2147/COPD.S246850. eCollection 2020.	Journal Article
212	Yamada A.	放射線科	Deep learning promotes B-mode ultrasound screening for focal liver lesions	EBioMedicine. 2020 Jun;56:102814. doi: 10.1016/j.ebiom.2020.102 814. Epub 2020 Jun 5.	Journal Article
213	Nishioka H, Yasunaga Y, Yanagisawa D, et al.	形成外科	Where do you insert a drain tube during breast reconstruction?	Surg Today. 2020 Dec;50(12):1626-1632. doi: 10.1007/s00595-020- 02043-1. Epub 2020 Jun 7.	Journal Article
214	Hanaoka Y, Koyama JI, Yamazaki D, et al.	脳神経外科	Passability and Impassability of Microcatheters Through the Neuroform Atlas Stent During the Trans-cell Approach: An Experimental Evaluation	World Neurosurg. 2020 Sep;141:e474-e483. doi: 10.1016/j.wneu.2020.05.2 15. Epub 2020 Jun 2.	Journal Article
215	Yoshimura H, Moteki H, Nishio SY, et al.	耳鼻咽喉科	Electric-acoustic stimulation with longer electrodes for potential deterioration in low- frequency hearing	Acta Otolaryngol. 2020 Aug;140(8):632-638. doi: 10.1080/00016489.2020.1 760351. Epub 2020 Jun 5.	Journal Article

216	Kobayashi Y, Sato M, Kinoshita M, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	An Elderly Case of Paraneoplastic Anti- NMDA Receptor Encephalitis Associated with Small-cell Lung Cancer Expressing NR1 Subunits	Intern Med. 2020 Sep 15;59(18):2307–2309. doi: 10.2169/internalmedicine. 4860–20. Epub 2020 Jun 2.	Case Reports
217	Ogawa A, Watanabe T, Natsume T, et al.	小児科	Early-Onset Inflammatory Bowel Disease Caused by Mutations in the X- Linked Gene IL2RG	J Investig Allergol Clin Immunol. 2021 Feb 17;31(1):69–71. doi: 10.18176/jiaci.0523. Epub 2020 Jun 3.	Journal Article
218	Yamane T, Kawakami T, Sekiguchi N, et al.	保健学科	High frequency of STAT3 gene mutations in T-cell receptor (TCR) γ δ - type T-cell large granular lymphocytic leukaemia: implications for molecular diagnostics	Br J Haematol. 2020 Sep;190(5):e301–e304. doi: 10.1111/bjh.16820. Epub 2020 Jun 1.	Letter
219	Kojima R, Harada M, Yamaguchi A, et al.	腎臓内科	Cholesterol Emboli Co-Existing with Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis in a 76- Year-Old Woman	Tohoku J Exp Med. 2020 May;251(1):61–68. doi: 10.1620/tjem.251.61.	Case Reports
220	Kusakari M, Nakayama Y, Horiuchi A, et al.	小児科	Trends in gastroesophageal reflux disease in Japanese children and adolescents	Pediatr Int. 2020 Nov;62(11):1269–1274. doi: 10.1111/ped.14324. Epub 2020 Nov 4.	Journal Article
221	Kobayashi H, Motoki N, Yokota S, et al.	小児科	Heart rate variability in the course of chemotherapy and haematopoietic stem cell transplantation for paediatric patients with haematological malignancies	Cardiol Young. 2020 Jul;30(7):967–974. doi: 10.1017/S1047951120001 298. Epub 2020 May 29.	Journal Article

222	Morizumi T, Ueno A, Takasone K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Elderly patient with 5q spinal muscular atrophy type 4 markedly improved by Nusinersen	J Neurol Sci. 2020 Aug 15;415:116901. doi: 10.1016/j.jns.2020.11690 1. Epub 2020 May 17.	Case Reports
223	Hakoyama Y, Yamada SI, Nishimaki F, et al.	特殊歯科・口腔外科	Oral Candida Mannan Concentrations Correlate with Symptoms/Signs of Ill Health and the Immune Status	Mycopathologia. 2020 Aug;185(4):629-637. doi: 10.1007/s11046-020- 00458-5. Epub 2020 May 27.	Journal Article
224	Mita A, Kurozumi M, Ohno Y, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Segmental Hepatic Steatosis Due to Portal Vein Stricture After Pediatric Living Donor Liver Transplantation: A Case Report	Transplant Proc. 2020 Jul-Aug;52(6):1944-1949. doi: 10.1016/j.transproceed.20 20.01.149. Epub 2020 May 23.	Case Reports
225	Nojima I, Suwa Y, Sugiura H, et al.	保健学科	Smaller muscle mass is associated with increase in EMG- EMG coherence of the leg muscle during unipedal stance in elderly adults	Hum Mov Sci. 2020 Jun;71:102614. doi: 10.1016/j.humov.2020.10 2614. Epub 2020 Apr 2.	Journal Article
226	Komatsu M, Yamamoto H, Yasuo M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	The utility of serum C-C chemokine ligand 1 in sarcoidosis: A comparison to IgG4- related disease	Cytokine. 2020 Sep;133:155123. doi: 10.1016/j.cyto.2020.1551 23. Epub 2020 May 21.	Journal Article
227	Ito K, Nakamura T, Horiuchi T.,	脳神経外科	[Application of Robotics to Spinal Surgery]	No Shinkei Geka. 2020 May;48(5):385-395. doi: 10.11477/mf.1436204200.	Journal Article

228	Ikuyama Y, Ushiki A, Kosaka M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Prognosis of patients with acute exacerbation of combined pulmonary fibrosis and emphysema: a retrospective single- centre study	BMC Pulm Med. 2020 May 20;20(1):144. doi: 10.1186/s12890-020- 01185-9.	Journal Article
229	Ito K, Nakamura T, Horiuchi T, et al.	脳神経外科	Cauda equina biopsy as a tool in the diagnosis of malignant tumors	J Clin Neurosci. 2020 Jul;77:207-210. doi: 10.1016/j.jocn.2020.05.04 4. Epub 2020 May 11.	Journal Article
230	Mochizuki K, Mori K, Kamijo H, et al.	救急科	Beneficial effect modification on survival outcome of sepsis between ART- 123 and polymyxin B- immobilised haemoperfusion: a nationwide Japanese registry study	Ann Intensive Care. 2020 May 13;10(1):57. doi: 10.1186/s13613-020- 00674-8.	Journal Article
231	Shen D, Hasegawa- Moriyama M, Ishida K, et al.	麻酔科蘇生科	Acute postoperative pain is correlated with the early onset of postpartum depression after cesarean section: a retrospective cohort study	J Anesth. 2020 Aug;34(4):607-612. doi: 10.1007/s00540-020- 02789-5. Epub 2020 May 12.	Journal Article
232	Saida T.	皮膚科	[Melanoma and Non- Melanoma Skin Cancers]	Gan To Kagaku Ryoho. 2020 Apr;47(4):587.	Journal Article
233	Kanai R, Ohshima K, Ishii K, et al.	保健学科	Discriminant analysis and interpretation of nuclear chromatin distribution and coarseness using gray-level co- occurrence matrix features for lobular endocervical glandular hyperplasia	Diagn Cytopathol. 2020 Aug;48(8):724-735. doi: 10.1002/dc.24466. Epub 2020 May 6.	Journal Article

234	Kobara H, Miyamoto T, Otsuki T, et al.	産科婦人科	worsening cytology and lesion enlargement are useful indicators for malignant transformation of lobular endocervical glandular hyperplasia during follow-up: A case report	Gynecol Oncol Rep. 2020 Apr 11;32:100571. doi: 10.1016/j.gore.2020.1005 71. eCollection 2020 May.	Case Reports
235	Mbadugha T, Ogiwara T, Nagm A, et al.	脳神経外科	Acromegaly in preadolescence: A case report of a 9- year-old boy with acromegaly	Surg Neurol Int. 2020 Apr 4;11:61. doi: 10.25259/SNI_474_2019. eCollection 2020.	Case Reports
236	Nakamura Y, Nakano M, Suzuki T, et al.	整形外科	Two adipocytokines, leptin and adiponectin, independently predict osteoporotic fracture risk at different bone sites in postmenopausal women	Bone. 2020 Aug;137:115404. doi: 10.1016/j.bone.2020.1154 04. Epub 2020 Apr 30.	Journal Article
237	Kishida D, Sakaguchi N, Ueno KI, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Macrophage activation syndrome in adult dermatomyositis: a case-based review	Rheumatol Int. 2020 Jul;40(7):1151-1162. doi: 10.1007/s00296-020- 04590-9. Epub 2020 Apr 30.	Case Reports
238	Miyagawa Y, Kitazawa M, Kitahara H, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Three Curative Pancreatectomies for the Metachronous Appearance of Pancreatic Invasive Ductal Adenocarcinoma	Case Rep Oncol. 2020 Apr 9;13(1):392-397. doi: 10.1159/000506732. eCollection 2020 Jan-Apr.	Case Reports
239	Munakata R, Koseki M, Oba H, et al.	整形外科	Selecting the C7-LIV Line Vertebra as the Upper Instrumented Vertebra for Adolescent Idiopathic Scoliosis Lenke Type 1A Curves: Multicenter and a Minimum 2-Year Follow-up Study	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Sep 1;45(17):1239- 1245. doi: 10.1097/BRS.0000000000 003509.	Journal Article

240	Miyajima H, Moteki H, Day T, et al.	耳鼻咽喉科	Novel ACTG1 mutations in patients identified by massively parallel DNA sequencing cause progressive hearing loss	Sci Rep. 2020 Apr 27;10(1):7056. doi: 10.1038/s41598-020-63690-5.	Journal Article
241	Yamazaki D, Ogihara N, Horiuchi T.,	脳神経外科	Primary Orbital Dedifferentiated Liposarcoma	World Neurosurg. 2020 Jul;139:604-607. doi: 10.1016/j.wneu.2020.04.069. Epub 2020 Apr 25.	Case Reports
242	Mimura T, Ikegami S, Kuraishi S, et al.	整形外科	Residual thoracolumbar/lumbar curve is related to self-image after posterior spinal fusion for Lenke 1 and 2 curves in adolescent idiopathic scoliosis patients	J Neurosurg Pediatr. 2020 Apr 24:1-6. doi: 10.3171/2020.2.PEDS19656. Online ahead of print.	Journal Article
243	Uehara M, Ito K, Kosho T, et al.	整形外科	Posterior spinal fusion for severe kyphoscoliosis in a Loeys-Dietz syndrome patient with a large syringomyelia	J Clin Neurosci. 2020 Jun;76:211-213. doi: 10.1016/j.jocn.2020.04.017. Epub 2020 Apr 21.	Case Reports
244	Takahashi M, Fujinaga Y, Notohara K, et al.	放射線科	Diagnostic imaging guide for autoimmune pancreatitis	Jpn J Radiol. 2020 Jul;38(7):591-612. doi: 10.1007/s11604-020-00971-z. Epub 2020 Apr 15.	Journal Article
245	Nakajima T, Uehara T, Iwaya M, et al.	臨床検査部	Characterization of LGR5 expression in poorly differentiated colorectal carcinoma with mismatch repair protein deficiency	BMC Cancer. 2020 Apr 15;20(1):319. doi: 10.1186/s12885-020-06791-8.	Journal Article

246	Yamamoto S, Yamaga T, Nishie K, et al.	リハビリテーション部	Impact of physical performance on prognosis among patients with heart failure: Systematic review and meta- analysis	J Cardiol. 2020 Aug;76(2):139-146. doi: 10.1016/j.jjcc.2020.02.02 2. Epub 2020 Apr 12.	Journal Article
247	Sonehara K, Tateishi K, Komatsu M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Lung immune prognostic index as a prognostic factor in patients with small cell lung cancer	Thorac Cancer. 2020 Jun;11(6):1578-1586. doi: 10.1111/1759- 7714.13432. Epub 2020 Apr 14.	Journal Article
248	Iwaasa T, Tensho K, Koyama S, et al.	整形外科	Plica syndrome after medial patellofemoral ligament reconstruction: a case report	J Surg Case Rep. 2020 Apr 3;2020(4):rjaa036. doi: 10.1093/jscr/rjaa036. eCollection 2020 Apr.	Case Reports
249	Sugiura A, Joshita S, Yamashita Y, et al.	消化器内科	Effectiveness of Glecaprevir/Pibrenta svir for Hepatitis C: Real-World Experience and Clinical Features of Retreatment Cases	Biomedicines. 2020 Apr 3;8(4):74. doi: 10.3390/biomedicines8040 074.	Journal Article
250	Tabata H, Okada A, Kobayashi H, et al.	循環器内科	Successful hot balloon ablation for focal atrial tachycardia derived from the left superior pulmonary vein antrum	J Arrhythm. 2020 Feb 14;36(2):368-370. doi: 10.1002/joa3.12313. eCollection 2020 Apr.	Case Reports
251	Arai S, Kamiyo T, Takezawa Y, et al.	臨床検査部	Acquired dysfibrinogenemia: monoclonal λ -type IgA binding to fibrinogen caused lower functional plasma fibrinogen level and abnormal clot formation	Int J Hematol. 2020 Jul;112(1):96-104. doi: 10.1007/s12185-020- 02874-1. Epub 2020 Apr 6.	Case Reports

252	Ichikawa T, Shimojima Y, Kishida D, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Primary central nervous system lymphoma in neuropsychiatric systemic lupus erythematosus: case-based review	Rheumatol Int. 2021 May;41(5):1009-1017. doi: 10.1007/s00296-020-04569-6. Epub 2020 Apr 6.	Journal Article
253	Suzuki T, Nakano M, Komatsu M, et al.	整形外科	ZMAT2, a newly-identified potential disease-causing gene in congenital radioulnar synostosis, modulates BMP signaling	Bone. 2020 Jul;136:115349. doi: 10.1016/j.bone.2020.115349. Epub 2020 Apr 1.	Case Reports
254	Mikoshiha A, Minagawa A, Okuyama R.,	皮膚科	Eosinophilic pustular folliculitis on the vulva of a patient with cervical cancer	J Dermatol. 2020 Jun;47(6):e221-e222. doi: 10.1111/1346-8138.15319. Epub 2020 Mar 15.	Case Reports
255	Hanaoka Y, Koyama JI, Yamazaki D, et al.	脳神経外科	Transradial Approach as the Primary Vascular Access with a 6-Fr Simmons Guiding Sheath for Anterior Circulation Interventions: A Single-Center Case Series of 130 Consecutive Patients	World Neurosurg. 2020 Jun;138:e597-e606. doi: 10.1016/j.wneu.2020.03.003. Epub 2020 Mar 9.	Journal Article
256	Ogasawara S, Uehara T, Nakajima T, et al.	臨床検査部	Correlation of Clinicopathological Features and LGR5 Expression in Triple-Negative Breast Cancer	Ann Diagn Pathol. 2020 Jun;46:151491. doi: 10.1016/j.anndiagpath.2020.151491. Epub 2020 Mar 3.	Journal Article
257	Gomibuchi T, Seto T, Chino S, et al.	心臓血管外科	Skeletal muscle quality affects patient outcomes in acute type A aortic dissection	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2020 May 1;30(5):739-745. doi: 10.1093/icvts/ivaa008.	Journal Article

258	Yamada Y, Miyamoto T, Higuchi S, et al.	産科婦人科	cDNA expression library screening revealed novel functional genes involved in clear cell carcinogenesis of the ovary in vitro	J Obstet Gynaecol. 2021 Jan;41(1):100-105. doi: 10.1080/01443615.2020.1 716310. Epub 2020 Mar 11.	Journal Article
259	Komatsu M, Nukada H, Hayashi M, et al.	整形外科	Pathological Findings of Hourglass-Like Constriction in Spontaneous Posterior Interosseous Nerve Palsy	J Hand Surg Am. 2020 Oct;45(10):990.e1- 990.e6. doi: 10.1016/j.jhsa.2019.12.01 1. Epub 2020 Mar 7.	Case Reports
260	Moteki H, Kitoh R, Usami SI.,	耳鼻咽喉科	The availability of an adhesive bone conduction hearing device: a preliminary report of a single- center experience	Acta Otolaryngol. 2020 Apr;140(4):319-326. doi: 10.1080/00016489.2019.1 708969. Epub 2020 Mar 6.	Journal Article
261	Hirabayashi K, Kakiyama S, Tanaka M, et al.	眼科	Investigation of the therapeutic mechanism of subthreshold micropulse laser irradiation in retina	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2020 May;258(5):1039-1047. doi: 10.1007/s00417-020- 04638-3. Epub 2020 Mar 5.	Journal Article
262	Yoshimura H, Moteki H, Nishio SY, et al.	耳鼻咽喉科	Genetic testing has the potential to impact hearing preservation following cochlear implantation	Acta Otolaryngol. 2020 Jun;140(6):438-444. doi: 10.1080/00016489.2020.1 730439. Epub 2020 Mar 5.	Journal Article
263	Takasone K, Usuda M, Yoshinaga T, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Limbic Encephalitis with Anti-myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibody	Intern Med. 2020 Jun 1;59(11):1465-1466. doi: 10.2169/internalmedicine. 4216-19. Epub 2020 Mar 5.	Journal Article

264	Nishikawara M, Kawakami T, Sakai H, et al.	血液内科	Magnetic Resonance Imaging-negative, Rituximab-resistant Neurolymphomatosis as a Paradoxical Presentation of Relapsed Primary Adrenal Lymphoma	Intern Med. 2020 Jun 1;59(11):1437-1443. doi: 10.2169/internalmedicine.4085-19. Epub 2020 Mar 5.	Case Reports
265	Kito M, Ogose A, Yoshida M, et al.	整形外科	Usefulness of surgical treatment for asymptomatic patients with extra-peritoneal desmoid-type fibromatosis: a systematic review and meta-analysis	Jpn J Clin Oncol. 2020 May 5;50(5):574-580. doi: 10.1093/jjco/hyaa009.	Journal Article
266	Morishita K, Yamada SI, Kawakita A, et al.	特殊歯科・口腔外科	Treatment outcomes of adjunctive teriparatide therapy for medication-related osteonecrosis of the jaw (MRONJ): A multicenter retrospective analysis in Japan	J Orthop Sci. 2020 Nov;25(6):1079-1083. doi: 10.1016/j.jos.2020.01.012. Epub 2020 Feb 25.	Journal Article
267	Hirano T, Hoshiyama K, Hirabayashi K, et al.	眼科	Vitreoretinal Interface Slab in OCT Angiography for Detecting Diabetic Retinal Neovascularization	Ophthalmol Retina. 2020 Jun;4(6):588-594. doi: 10.1016/j.oret.2020.01.004. Epub 2020 Jan 10.	Journal Article
268	Shirai T, Kiniwa Y, Ishii N, et al.	皮膚科	Paraneoplastic pemphigus associated with Waldenström's macroglobulinemia	J Dermatol. 2020 May;47(5):e200-e201. doi: 10.1111/1346-8138.15289. Epub 2020 Feb 27.	Case Reports
269	Yamada SI, Kurita H, Nakano R, et al.	特殊歯科・口腔外科	Treatment strategies for and outcomes of older patients with oral squamous cell carcinoma	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2020 Apr;129(4):322-329. doi: 10.1016/j.oooo.2019.10.009. Epub 2020 Feb 24.	Journal Article

270	Oba H, Takahashi J, Yokomichi H, et al.	整形外科	Versus Bisphosphonate for Bone Union During 6 Months After Multi- Level Lumbar Interbody Fusion for Osteoporotic Patients: A Multicenter, Prospective, Randomized Study	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Jul 1;45(13):863- 871. doi: 10.1097/BRS.0000000000 003426.	Journal Article
271	Ikeda J, Shimajima Y, Usami Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Cerebrospinal fluid biomarkers implicated in the pathogenesis of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-related hypertrophic pachymeningitis	Clin Rheumatol. 2020 Jun;39(6):1803-1811. doi: 10.1007/s10067-020- 04971-2. Epub 2020 Feb 8.	Journal Article
272	Morikawa M, Hara Y, Nakazawa Y, et al.	小児科	Usefulness of Continuous Glucose Monitoring for Prevention and Early Detection of Hypoglycemia Caused by a Ketogenic Diet and Late Dumping Syndrome	Pediatr Neurol. 2020 Apr;105:65-66. doi: 10.1016/j.pediatrneurol.2 019.12.002. Epub 2019 Dec 26.	Case Reports
273	Ueno M, Minagawa T, Saito T, et al.	泌尿器科	Therapeutic effects of Choreito, a traditional Japanese (Kampo) medicine, on detrusor overactivity induced by acetic acid in rats	Low Urin Tract Symptoms. 2020 Sep;12(3):198-205. doi: 10.1111/luts.12302. Epub 2020 Feb 3.	Journal Article
274	Furui Y, Morita D, Okura E, et al.	小児科	Thyroid tumor surveillance using ultrasound in childhood cancer survivors	Pediatr Int. 2020 May;62(5):562-568. doi: 10.1111/ped.14179.	Journal Article
275	Kaido T, Yoda M, Kamijo T, et al.	臨床検査部	Heterozygous variant fibrinogen γ A289V (Kanazawa III) was confirmed as hypodysfibrinogenemi a by plasma and recombinant fibrinogens	Int J Lab Hematol. 2020 Apr;42(2):190-197. doi: 10.1111/ijlh.13152. Epub 2020 Jan 20.	Journal Article

276	Shigemura T, Sakashita K, Okura E, et al.	小児科	Comparative analysis of graft-versus-host disease prophylaxis with tacrolimus in combination with methylprednisolone or methotrexate after umbilical cord blood transplantation	Int J Hematol. 2020 May;111(5):702-710. doi: 10.1007/s12185-020-02826-9. Epub 2020 Jan 18.	Journal Article
277	Tanaka R, Tanaka S, Ichino T, et al.	麻酔科蘇生科	Differential effects of sevoflurane and propofol on an electroretinogram and visual evoked potentials	J Anesth. 2020 Apr;34(2):298-302. doi: 10.1007/s00540-020-02733-7. Epub 2020 Jan 16.	Journal Article
278	Asaka S, Nakajima T, Kugo K, et al.	臨床検査部	Immunophenotype analysis using CLDN18, CDH17, and PAX8 for the subcategorization of endocervical adenocarcinomas in situ: gastric-type, intestinal-type, gastrointestinal-type, and Müllerian-type	Virchows Arch. 2020 Apr;476(4):499-510. doi: 10.1007/s00428-019-02739-x. Epub 2020 Jan 13.	Journal Article
279	Morota H, Saito S, Uchida E, et al.	小児科	Delayed methotrexate clearance and acute kidney injury after high-dose methotrexate chemotherapy concurrent with dasatinib in a patient with relapsed Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia: A case report	Pediatr Blood Cancer. 2020 Apr;67(4):e28173. doi: 10.1002/pbc.28173. Epub 2020 Jan 11.	Letter
280	Nojima I, Oliviero A, Mima T.,	保健学科	Transcranial static magnetic stimulation -From bench to bedside and beyond	Neurosci Res. 2020 Jul;156:250-255. doi: 10.1016/j.neures.2019.12.005. Epub 2019 Dec 26.	Journal Article

281	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Prevalence of Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis in the General Elderly Population: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled From a Basic Resident Registry	Clin Spine Surg. 2020 Apr;33(3):123-127. doi: 10.1097/BSD.0000000000000919.	Journal Article
282	Saito S, Taira C, Matsuda K, et al.	小児科	Complete measurable residual disease response after combination chemotherapy with AML-type and ALL-type regimens in pediatric B/myeloid acute bilineal leukemia	Leuk Lymphoma. 2020 Apr;61(4):967-970. doi: 10.1080/10428194.2019.1697813. Epub 2019 Dec 6.	Letter
283	Iimura M, Hayashi W, Arai E, et al.	保健学科	Detection of Acinetobacter pittii ST220 co-producing NDM-1 and OXA-820 carbapenemases from a hospital sink in a non-endemic country of NDM	J Glob Antimicrob Resist. 2020 Jun;21:353-356. doi: 10.1016/j.jgar.2019.11.013. Epub 2019 Nov 27.	Journal Article
284	Tateishi K, Ko R, Shukuya T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Clinical Outcomes of Second-Line Chemotherapy in Patients with Previously Treated Advanced Thymic Carcinoma: A Retrospective Analysis of 191 Patients from the NEJ023 Study	Oncologist. 2020 Apr;25(4):e668-e674. doi: 10.1634/theoncologist.2019-0593. Epub 2019 Nov 26.	Journal Article
285	Uehara M, Kosho T, Takano K, et al.	整形外科	Proximal Junctional Kyphosis After Posterior Spinal Fusion for Severe Kyphoscoliosis in a Patient With PIEZO2-deficient Arthrogryposis Syndrome	Spine (Phila Pa 1976). 2020 May 15;45(10):E600-E604. doi: 10.1097/BRS.00000000000003347.	Case Reports
286	Kurihara S, Kimura T, Tanaka N, et al.	内科	Congestive hepatopathy and acute pancreatitis as severe complications of mixed connective tissue disease	Clin J Gastroenterol. 2020 Jun;13(3):434-442. doi: 10.1007/s12328-019-01059-6. Epub 2019 Nov 19.	Case Reports

287	Joshita S, Yamashita Y, Sugiura A, et al.	消化器内科	Clinical utility of FibroScan as a non- invasive diagnostic test for primary biliary cholangitis	J Gastroenterol Hepatol. 2020 Jul;35(7):1208-1214. doi: 10.1111/jgh.14929. Epub 2019 Dec 10.	Journal Article
288	Yamada SI, Hasegawa T, Soutome S, et al.	特殊歯科・口腔外科	Prevalence of and risk factors for postoperative hemorrhage after lower third molar extraction on warfarin therapy: a multicenter retrospective study in Japan	Odontology. 2020 Jul;108(3):462-469. doi: 10.1007/s10266-019- 00474-y. Epub 2019 Nov 8.	Journal Article
289	Yamada SI, Hasegawa T, Okuyama K, et al.	特殊歯科・口腔外科	Clinical significance of the G8 screening tool in elderly patients with oral squamous cell carcinoma	Clin Oral Investig. 2020 Jun;24(6):1953-1961. doi: 10.1007/s00784-019- 03056-y. Epub 2019 Aug 13.	Journal Article
290	Sakaguchi N, Shimajima Y, Ushiyama S, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Normal Pressure Hydrocephalus in Systemic Lupus Erythematosus: A Severe Case of Recurrent Cerebral Infarctions After Ventriculoperitoneal Shunt	J Clin Rheumatol. 2020 Oct;26(7):e246-e248. doi: 10.1097/RHU.0000000000 0001101.	Journal Article
291	Kishida D, Yazaki M, Nakamura A, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Late-onset familial Mediterranean fever in Japan	Mod Rheumatol. 2020 May;30(3):564-567. doi: 10.1080/14397595.2019.1 621440. Epub 2019 Jun 25.	Journal Article
292	Ito K, Yamada M, Horiuchi T, et al.	脳神経外科	Appropriate surgical procedures for Chiari type 1 malformation and associated syrinx based on radiological characteristics of the craniovertebral junction	Neurosurg Rev. 2020 Apr;43(2):575-580. doi: 10.1007/s10143-019- 01079-3. Epub 2019 Jan 25.	Journal Article

計 292件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例： Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec（オンライン）
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

後期研修

内科学（1）（呼吸器・感染症・アレルギー内科）大学院・専門医コース，呼吸器専門医・感染症専門医・アレルギー専門医コース，神経内科専門医コース，リウマチ・膠原病内科専門医コース，脳神経内科大学院コース，リウマチ・膠原病内科大学院コース，大学院・研究コース，臨床コース，一般循環器内科コース，循環器内科サブスペシャリティ取得コース，大学院・研究コース，一般精神医学コース，大学院・研究コース，精神科サブスペシャリティ取得コース，一般皮膚科コース，大学院・研究コース，皮膚科サブスペシャリティ取得コース，外科コース，一般整形外科コース，大学院・研究コース，整形外科サブスペシャリティ取得コース，脳神経外科専門医コース，眼科専門医コース，専門医コース，一般産婦人科医学コース，研究コース，産婦人科サブスペシャリティ取得コース，麻酔科専門医コース その1（卒後臨床研修2年終了後，大学院・学位取得），麻酔科専門医コース その2（卒後臨床研修2年終了後，大学院・関連病院間連携），形成外科専門医コース，特殊歯科・口腔外科アドバンストコース

専攻医研修（基本領域）

内科専門研修プログラム，精神科専門研修プログラム，小児科専門研修プログラム，皮膚科専門研修プログラム，放射線科専門研修プログラム，外科専門研修プログラム，整形外科専門研修プログラム，脳神経外科専門研修プログラム，泌尿器科専門研修プログラム，眼科専門研修プログラム，耳鼻咽喉科専門研修プログラム，産婦人科専門研修プログラム，麻酔科専門研修プログラム，形成外科専門研修プログラム，救急科専門研修プログラム，リハビリテーション科専門研修プログラム，臨床検査専門研修プログラム，病理専門研修プログラム

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	161人
-------------	------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症内科	診療科長	31年	
梅村 武司	消化器内科	副診療科長	20年	
上條 祐司	腎臓内科	専門診療科長	26年	
中澤 英之	血液内科	専門診療科長	19年	

関島 良樹	脳神経内科	診療科長	29 年	
下島 恭弘	リウマチ・膠原病内科	リウマチ・膠原病内科専門診療科長	21 年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌代謝内科	診療科長	34 年	
桑原 宏一郎	循環器内科	診療科長	29 年	
鷺塚 伸介	精神科	診療科長	26 年	
中沢 洋三	小児科	診療科長	24 年	
奥山 隆平	皮膚科	診療科長	31 年	
藤永 康成	放射線科	診療科長	27 年	
副島 雄二	消化器外科 移植外科 小児外科	診療科長	30 年	
瀬戸 達一郎	心臓血管外科	診療科長	25 年	
伊藤 研一	乳腺・内分泌外科，呼吸器外科	診療科長	32 年	
高橋 淳	整形外科	診療科長	28 年	
堀内 哲吉	脳神経外科	副診療科長	29 年	
栗田 浩	特殊歯科・口腔外科	診療科長	33 年	
石塚 修	泌尿器科	診療科長	35 年	
村田 敏規	眼科	診療科長	33 年	
宇佐美 慎一	耳鼻いんこう科		39 年	
塩沢 丹里	産科婦人科	診療科長	34 年	
川真田 樹人	麻酔科蘇生科	診療科長	34 年	
杠 俊介	形成外科	診療科長	31 年	
今村 浩	救急科	診療科長	33 年	

堀内 博志	リハビリテーション科	職付・特定雇用 診療科長	28 年	
上原 剛	病理診断科	職付・診療教授	23 年	
川真田 樹人	臨床検査部	施設部長・事務 取扱	34 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により，標榜を行うこととされている診療科については，必ず記載すること。

(注) 2 内科について，サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には，すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について，サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には，すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

○ 看護師に対する研修

- ・研修の主な内容 新人看護師研修，看護師ラダーに基づく研修，吸引研修
- ・研修の期間・実施回数 4月～翌3月，64回
- ・研修の参加人数 のべ1684人

○ 放射線障害予防研修

- ・内容 種類，線量測定，人体への影響，職業被ばくの線量限度等の研修
- ・研修回数 年1回実施 ・研修の参加人数 604人

○ 医療放射線安全利用の研修

- ・研修の主な内容 医療被ばくの基本，放射線の正当化，防護の最適化等の研修
- ・研修の期間・実施回数 年1回実施 ・研修の参加人数 383人

○ MRI安全講習

- ・研修の主な内容 磁場と電波の影響，吸着事故や火傷の防止，造影剤の副作用等の研修
- ・研修の期間・実施回数 年1回実施 ・研修の参加人数 316人

○ 臨床工学技師に対する研修

主な研修内容	研修回数	研修期間	研修参加人数
ECMO 研修	4	2020 年 4 月 24 日 / 5 月 1 日	24
		2020 年 10 月 6 日	16
		2020 年 11 月 27 日	15
IABP の研修	2	2020 年 8 月 28 日	13
		2020 年 10 月 26 日	14
iVAD 研修	3	2020 年 12 月 15・16・17 日	12
人工呼吸器研修	6	2020 年 4 月 13・14 日	12
		2020 年 5 月 25・26 日	21
		2020 年 10 月 6・16 日	18
NPPV 研修	1	2020 年 5 月 29 日	5

	CRRT 研修	3	2020 年 5 月 18・19 日	17	
			2020 年 6 月 1 日	6	
	除細動器研修	4	2020 年 6 月 17・24 日/7 月 1 日	50	
			2021 年 2 月 22 日	12	
	看護部新規採用 者技術研修 (輸液・シリン ジポンプ)	2	2020 年 4 月 10・13 日	55	
	看護部中途採用 者医療機器研修 (輸液・シリン ジポンプ)	13	随時	26	
	輸液・シリンジ ポンプ研修	2	2020 年 8 月 17・18 日	19	
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）					
・研修の主な内容 看護管理者研修，新任看護管理者研修 ・研修の期間・実施回数 4月～12月 ・14回 ・研修の参加人数 のべ223人					
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況					
・研修の主な内容 新人看護師フィジカルアセスメント ・研修の期間・実施回数 8月～9月，2回 ・研修の参加人数 13名					

(注) 1 高度の医療に関する研修について，前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については，医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき，がん，循環器疾患等の疾患に関し，高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また，日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 川真田 樹人
管理担当者氏名	副病院長（事務担当） 三澤 剛， 総務課長 窪田 修一，経営管理課長 丸山 政紀， 経営推進課長 犬飼 一範，医事課長 古澤 真紀， 医療支援課長 宮尾 勇人

		保 管 場 所		管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	電子化されている諸記録は、電子カルテシステムおよび部門システム内で管理している。紙媒体の諸記録は、診療録管理室が管理する記録保管庫で管理している。 また診療録の本院外への持ち出しについては、「信州大学医学部附属病院診療録閲覧・貸出要項」により禁止している。
		各科診療日誌	診療録管理室	
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	（高度の医療技術の開発及び評価の実績） 電子化されている諸記録は、事務部サーバー内で管理している。紙媒体の諸記録は、事務部の保管庫で管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
		高度の医療の研修の実績	医学部	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	電子化されている記録は感染制御室及び医事課医療安全係のシステム内で管理している。かつ紙媒体でも学内ルールにより5年間保存している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課	
		医療安全管理部門の設置状況	医事課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課	
		監査委員会の設置状況	医事課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人本部	
		職員研修の実施状況	総務課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別		1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名		病院長 川真田 樹人	
閲覧担当者氏名		副病院長（事務担当） 三澤 剛 総務課長 窪田 修一 経営管理課長 丸山 政紀 経営推進課長 犬飼 一範 医事課長 達家 孝男 医療支援課長 古澤 真紀	
閲覧の求めに応じる場所		総務課	
閲覧の手続の概要 閲覧希望者より申請があった際には、総務課にて記録を閲覧させている。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
- 指針の主な内容： - 医療安全管理に関する基本的な考え方 - 医療安全管理のための組織に関する基本事項 - 医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 - 医療安全管理の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 - 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 - 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本事項（患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む） - 患者からの相談への対応に関する基本方針 - その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 - 設置の有無（有） - 開催状況：年 12 回 - 活動の主な内容： - 医療事故の防止対策の検討及び推進、並びに再発防止策の提言 - 医療事故防止のための教育及び研修に関する事項 - 死亡例及びインシデント事例の報告状況の確認及び指導 - 医療事故防止マニュアルの改訂 - 各委員会などへの指導と連携 （輸血療法委員会、病院情報システム管理委員会、臨床工学部会議、医薬品情報管理室との連絡会議など）	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 15 回
- 研修の内容（すべて）： - 部署医療安全管理者研修：医療安全に関する講義 - 医療情報管理研修：医療機関における情報管理のあり方について学ぶ講義 - 医療安全・感染制御室合同職員研修①特定機能病院における医療安全管理について学ぶ講義 - 医療安全・感染制御室合同研修②：院内インシデント事例から当院における患者安全について学ぶ講義 - 医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技 - 非医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技 - BLS経験済み医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義	

急変シミュレーション研修：部署での実践
 転倒・転落防止研修：部署でのグループワーク
 医療安全推進週間記念講演：ヒューマンエラーの認知科学についての講義
 M&Mカンファレンス
 新採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義
 中途採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義
 超音波ガイド下中心静脈穿刺研修：講義と実技
 Safety plus研修：e-ラーニングツールを用いた講義

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ 有 ）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

院内の関連会議での自院及び他病院の事例の紹介（情報共有）による注意喚起

各部署での医療安全にかかわる改善・対策プランの作成を部署医療安全管理者会議で周知徹底

医療安全管理室ニュースによる注意喚起と周知徹底、及び医療安全管理室ホームページでの周知

医薬品情報管理室や臨床工学部との連携による安全管理の徹底

インシデント報告の中の重要事例について院内ラウンド

現状調査し、必要に応じてワーキンググループを立ち上げ、マニュアルやルールを作成する。（画像診断・病理診断報告書確認体制改善ワーキンググループ）

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
・ 指針の主な内容： * 医療関連感染対策に関する基本的な考え方 * 感染対策委員会の設置 * 医療関連感染対策に関する職員研修 * 医療関連感染発生時の対応 * 医療関連感染対策ガイドライン * 患者等に対する当該指針の閲覧及び情報提供と説明に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： * 抗菌薬使用動向報告 * JANIS検査部門還元情報報告/感染症レポート * 医療関連感染に関する啓発及び職員研修の企画、実施 * 医療関連感染ガイドライン等の改訂についての審議（感染性リネンの取り扱い、標準予防策、感染経路別予防策、感染性廃棄物の処理、感染症診察室の使用、リンクスタッフ会に関する申し合わせ） * アウトブレイク事象についての対応、報告、職員への周知（MRSA、CPE） * 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム 等）についての実施及び報告 * 医療関連感染サーベイランス（デバイス関連、耐性菌、プロセス 等）についての実施及び報告 * 院内ラウンドの実施及び報告、改善活動報告、コンサルテーション対応 * 感染防止対策地域連携加算に基づく相互チェックの実施及び報告 * 新型コロナウイルス感染症の対応 * その他感染管理に関する事項の検討、審議、決定（J-SIPHEシステムの参加について、CPE検出環境調査報告）	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 12 回
・ 研修の内容（すべて）： * 医療関連感染対策に関するオリエンテーション：新規採用者・中途採用者・復帰者 * 新型コロナウイルス感染症（概論編）：全職員、委託業者 * 新型コロナウイルス感染症（日常生活編）：全職員、委託業者 * COVID-19に関連したメンタルヘルス：全職員、委託業者 * いつもと違う冬の感染対策：全職員、委託業者 * 院内で増えてます！針刺し注意報発令中！：全職員、委託業者 * 抗菌薬の○と×：全職員 * 研修医クルーズ「臨床に生かす培養検査」①②：研修医、その他の医師 * 看護部感染管理実践コース：看護師 * 看護部リンクナース研修コース：看護師 * 部署別感染対策研修（手指衛生）：看護師 * 看護補助者対象感染対策研修：看護補助者 * DVD研修：上記研修の未受講者（年2回参加に満たない職員）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： * アウトブレイク対応（部署への介入） * 病棟改修工事に関する感染対策の助言・提言 * 新型コロナウイルス感染症対策本部の活動（ルールや対策等の発信）	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 1) 麻薬・向精神薬・覚醒剤原料の管理・取扱いについて（WEB研修） 2020/10/14～2020/11/13, 385名 2) 医薬品安全使用のための講習会「医薬品を安全に使用するために～事例から再発防止につなげよう～」（WEB研修） 2020/12/28 ～2021/2/8, 179名	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （有） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 1) 医薬品の採用・購入手順に基づいた薬事委員会の開催および適正購入の実施 2) 医薬品管理手順に基づいた医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 3) 患者に対する安全な医薬品使用のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 4) 医薬品情報の収集および提供の実施 5) 保険調剤薬局との連携など	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 1) BKウイルス腎症に対するシドフォビル（Cidofovir）治療 （腎臓内科） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) 医薬品安全管理に係る内容の見直しおよび医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底 2) 医薬品の安全管理に係る必要研修内容の調査・検討と実施 3) 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 （メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、簡易版を作成し、医療安全管理室ニュースと合わせて配布及び回覧をしている。また、部署医療安全管理者会議にて冊子を案内・配布している。） 4) 医薬品情報室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的（月1回）な連絡会議開催 （院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じる） 5) 院内での医薬品副作用報告体制の整備 （電子カルテシステムからの副作用報告を可能とし、周知および薬事委員会、医療安全管理委員会では報告を行っている。）	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年36回
研修の主な内容： 新規機器の導入時の研修 特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺及び補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置、CTエックス線装置、MRI装置）の研修 AED等、シリンジポンプ等必要な機器の研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定（有） - 機器ごとの保守点検の主な内容： 年1回を基本とした定期点検 消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備（有） - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： - その他の改善のための方策の主な内容： Webサイトへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は副病院長（危機管理担当）が担っており、同時に医療安全管理部門の責任者及び医療安全管理委員長となり、医療の安全に関することを統括管理している。また、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、医療安全管理委員会の構成員となり医療安全に関する報告を行っている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 1）月1回の医薬品情報室（医薬品情報室主任、病棟主任、医薬品安全管理者）と医療安全管理室による連絡会議では、院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し、適切な措置を講じている。検討した内容は、医療安全管理委員会で審議したのち、部署医療安全管理者会議で報告、周知している。 2）薬事委員会において、副作用症例報告、医薬品医療機器等安全性情報の周知を行っている。 3）医療安全管理委員会において、副作用症例報告を行っている。 4）特に重要な事項については、「医薬品の安全使用のための研修会」において、理解度確認テスト（解説付き）を行うことにより、受講者の理解を深めるようにしている。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 1）審査済みの未承認薬等使用時は、処方・注射オーダーリングからの入力とし、患者限定・医薬品採用願書または薬剤保管依頼書、倫理委員会審査結果通知書を医薬品情報室に提出する。処方監査時に使用状況の把握を行う。また、医療安全管理室の専従薬剤師が、患者の使用状況について定期的に確認している。 2）登録状況、使用状況については、薬剤部主任会議（月1回開催）で報告を受けており、医薬品安全管理責任者に確実に伝達される。 ・ 担当者の指名の有無（有） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部医薬品情報室・薬剤主任） （所属：薬剤部調剤室・薬剤主任） （所属：医療安全管理室・薬剤主任）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：診療録管理委員会での遵守状況の確認、指導及び医療安全管理委員会との情報共有	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
・主に手術記録，退院時要約，インフォームド・コンセントに関する記録，カウンターサイン実施状況等を日常的に確認し，記載に不備が認められた場合に担当医へ指導を実施。記載が不十分な事例については，診療録管理委員会を通じて，各部署に周知を依頼。 ・卒後臨床研修医入職時のオリエンテーションにおいて，診療報酬に係るカルテ記載及び退院時要約の作成に関する講義を担当。 ・多職種による診療記録の質的監査を年2回実施。監査結果を診療録管理委員会、診療科長会へ報告するとともに主治医へのフィードバックを実施。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
・所属職員：専従（5）名，専任（0）名，兼任（8）名 うち医師：専従（1）名，専任（0）名，兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名，専任（0）名，兼任（0）名 うち看護師：専従（2）名，専任（0）名，兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ・インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定 ・医療事故発生時における記録等の確認及び指導並びに患者家族への対応状況の確認及び指導 ・医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項 ・医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること ・医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること ・肺血栓塞栓症予防策の実施状況及び全死亡例のモニタリングに関すること ・インフォームド・コンセントの適切な実施に関すること ・その他医療の安全管理に係る連絡調整及び医療安全対策の推進に関すること ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（33件）、及び許可件数（32件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有） ・活動の主な内容： 高難度新規医療技術を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は，担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医療技術実施後は，実施状況を確認する。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）	

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（１件）、及び許可件数（１件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・活動の主な内容：
未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医薬品使用時は、薬剤部内で情報共有し、担当薬剤師は副作用の発現等をモニターする。使用後は、使用状況を確認する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 277 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 83 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容：
 - ・医療安全管理部門に報告された事象の確認
 - ・適切に報告されているかの確認及び報告が不十分な場合の指導

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（無）
- ・技術的助言の実施状況：
特定機能病院間の相互ピアレビューを山梨大学と行った。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
- ・（設置状況等）
窓口の名称 医療安全相談室（「医療安全相談室」を窓口に明記）
相談日及び相談時間帯 平日 8：30～17：15（相談依頼者の意向を考慮）
責任者の氏名及び職種 川真田樹人：病院長
対応職員の氏名、部署及び職種 古澤真紀：医療支援課長 寺沢 隆：医療支援課副課長
大木 晃：医療支援課主査 長橋英里：医療支援課係員

規約の整備状況 有 平成26年12月 4日 改正

- ・（活動状況等）
 - ・ 患者等への明示方法
各診療科外来、各病棟及び部門等の掲示板で明示
「外来診療案内」及び入院案内「入院のしおり」にて紹介
 - ・ 相談により患者等が不利益を受けないよう適切な配慮の具体的方策
医療安全相談室（個室）で相談
対応者は客観的・中立的な立場を遵守
相談後の対応は患者等の意向を尊重
 - ・ 電話、投書箱、インターネット相談の実施など相談窓口以外の相談の受付方法
※電話相談の有無、患者からの意見等の投書箱の設置の有無及び設置場所並びに力所数、
インターネットでの相談の有無を記入のこと。
電話相談 有
投書箱 設置場所：外来棟（5ヶ所）、東西病棟1階から8階、精神科病棟内、
南病棟1階・4階から6階（それぞれ1ヶ所） 計18カ所
インターネット相談 無
 - ・ 解決策及び院内での対応方法
相談事例は病院長へ報告
必要に応じて医療安全管理室会議に報告・審議

⑫ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
監査委員会からの意見の表明に関する事項については、研修該当事項がない為、実施なし。
医療法施行規則改正に係る事項については、医療安全管理室主催の研修として実施。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
院内での研修実施予定は無し。
川真田樹人（病院長）は、2020年度特定機能病院管理者研修（2回目以降の受講となる方対象）を2020年10月15日に受講済である。
塩沢丹里（医療安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者養成研修（初回の受講となる方対象）を2020年12月24日に受講済である。
今村浩（医療機器安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者養成研修（初回の受講となる方対象）を2021年1月28日に受講済である。
神田博仁（医薬品安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者研修（2回目以降の受講

となる方対象)を2021年1月20日に受講済である。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和元年6月12日～14日、公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価 一般病院3
〈3rdG:Ver.2.0〉 受審。

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

改善のために講ずべき措置はなかった。

・ 評価を踏まえ講じた措置

改善のために講ずべき措置はなかった。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
- 基準の主な内容 人格が高潔で、学識に優れ、かつ、本院における医療の質と安全性を確保し、高度医療の提供及び教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、以下の要件を満たす者。 - 医師免許を有している者 - 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 - 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 - 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者 - 基準に係る内部規程の公表の有無（有） - 公表の方法 本学公式サイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有
・合議体の主要な審議内容 信州大学医学部附属病院の運営に関する重要事項を審議する。 ・審議の概要の従業者への周知状況 各診療科長宛に紙媒体にて通知するとともに、電子掲示板にて周知している。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・公表の方法 WEBによる公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 無 ）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
川真田 樹人	○	医師	病院長
花岡 正幸		医師	副病院長（経営、広報、地域医療担当）
塩沢 丹里		医師	副病院長（危機管理担当）
栗田 浩		医師	副病院長（施設担当）
関島 良樹		医師	副病院長（管理・運営担当）
伊藤 寿満子		看護師	副病院長（看護部長）
三澤 剛		事務職員	副病院長（事務担当）
桑原 宏一郎		医師	
梅村 武司		医師	
中澤 英之		医師	
上條 祐司		医師	
下島 恭弘		医師	
駒津 光久		医師	
鷲塚 伸介		医師	病院長補佐（倫理担当）
中沢 洋三		医師	病院長補佐（教育・研究担当）

奥山 隆平		医師	病院長補佐（国際化担当）
藤永 康成		医師	病院長補佐（教育・研究担当）
副島 雄二		医師	病院長補佐（診療担当）
瀬戸達一郎		医師	
清水 公裕		医師	
伊藤 研一		医師	
高橋 淳		医師	
堀内 哲吉		医師	
石塚 修		医師	病院長補佐（評価担当）
村田 敏規		医師	
工 穰		医師	
杠 俊介		医師	
今村 浩		医師	病院長補佐（災害対策担当）
関口 健二		医師	
堀内 博志		医師	
上原 剛		医師	
牛木 淳人		医師	
古庄 知己		医師	
本田 秀夫		医師	
大野 康成		医師	
小泉 知展		医師	
内藤 隆文		医師	
増田 雄一		医師	

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）
- ・ 公表の方法
WEBによる公表
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長は、病院の管理運営に関する業務を統括する。
 - ・ 副病院長は4人以内とし、そのうち1人は看護部長をもって充て、1人は事務部担当とし、それ以外の副病院長は、病院長が指名する。
 - ・ 病院長補佐は3人以内とし、信州大学医学部附属病院規程の第16条に規定する病院診療科長会の構成員のうちから、病院長が指名する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長は、病院長の業務を補佐するとともに、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名した副病院長が、その職務を代行する。
 - ・ 病院長補佐は、病院長の求めに応じ、病院の管理運営に関する専門的事項について企画立案するとともに、当面する諸課題その他病院長が必要と認める事項について助言等を行う。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

川真田樹人（病院長）は、2020年度特定機能病院管理者研修（2回目以降の受講となる方対象）を2020月10月15日に受講済である。

塩沢丹里（医療安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者養成研修（初回の受講となる方対象）を2020月12月24日に受講済である。

今村浩（医療機器安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者養成研修（初回の受講となる方対象）を2021月1月28日に受講済である。

神田博仁（医薬品安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者研修（2回目以降の受講となる方対象）を2021月1月20日に受講済である。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					有
・ 監査委員会の開催状況：年 1 回 （R2. 10. 29（金））（なお、二回目の開催については新型コロナウイルス感染症の影響により休止とした） ・ 活動の主な内容： (1) 医学部附属病院における医療安全管理責任者，医療安全管理室，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況について，病院長等から報告を求め，又は必要に応じて資料の提出，関係者の委員会への出席等を求め確認を行うこと。 (2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。 (3) 第 1 号及び第 2 号に掲げる業務について，その結果をホームページで公表すること。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ 有 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ 有 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 無 ） ・ 公表の方法： 信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人財団 慈泉会相澤病院 病院長	○	医療に係る安全管理に関する 識見を有する者	無	1
高木 洋行	松本市立病院 名誉院長		医療に係る安全管理に関する 識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学 経法学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
土屋 恭子	公益社団法人 長野県看護協会 常務理事		医療を受ける者	無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1. に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
内部監査室において、当該年度の病院を含む各組織の業務に関し、監事による監査と連携し、監査を実施している。
- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
WEBによる公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 国立大学法人信州大学病院業務監督委員会を設置し、次に掲げる事項について、点検・監督を行う。 (1) 経営状況に関すること。 (2) 予算及び決算に関すること。 (3) 中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。 (4) 人事計画に関すること。 (5) 学長が必要と認めた事項に関すること。 (6) その他病院の管理運営に関する重要事項に関すること。 ・ 会議体の実施状況（ 年 7 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有 ）（ 年 7 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 WEBによる公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人信州大学病院業務監督委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
濱田 州博	学長	○	無
川真田 樹人	医学部附属病院長		有
花岡 正幸	副病院長（経営担当）		有
伊藤 寿満子	副病院長（看護部長）		有
三澤 剛	副病院長（事務担当）		有
武田 三男	理事（経営企画，総務，情報担当）		無
小宮山 啓太郎	理事（財務，環境施設担当）		無
樋口 聡	副学長（特命戦略担当）		無
中山 淳	医学部長		有
本田 孝行	医学部 教授		有
金井 康雄	経営企画部長		無
古橋 良幸	総務部長		無
南 博徳	財務部長		無
大江 信浩	環境施設部長		無
清澤 研道	相澤病院		無
西垣 明子	長野県健康福祉部		無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ） ・ 通報件数（年〇件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ） ・ 周知の方法：医療安全管理マニュアル，病院オールメール（年２回），業務端末に掲載